

1 議 事 日 程

〔令和4年太宰府市議会 決算特別委員会〕

令和4年9月14日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 令和3年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 令和3年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 令和3年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第7 認定第7号 令和3年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	陶山良尚 議員	副委員長	木村彰人 議員
委員	タコスキッド 議員	委員	馬場礼子 議員
〃	今泉義文 議員	〃	森田正嗣 議員
〃	宮原伸一 議員	〃	入江寿 議員
〃	徳永洋介 議員	〃	舩越隆之 議員
〃	堺 剛 議員	〃	笠利毅 議員
〃	原田久美子 議員	〃	神武綾 議員
〃	小島真由美 議員	〃	長谷川公成 議員
〃	橋本健 議員	〃	門田直樹 議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（42名）

総務部長	山浦剛志	総務部経営 企画担当理事	村田誠英
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	川谷豊
健康福祉部高齢者福祉担当理事 兼高齢者支援課長	行武佐江	都市整備部長	高原清
都市整備部理事 兼総務部理事	山崎謙悟	観光経済部長	友添浩一
教育部理事	堀浩二	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	佐藤政吾
経営企画課長	轟貴之	総務課書記兼課長兼経営企画課広聴 広報担当課長兼マイアロモーション担当課長	杉山知大
文書情報課長	高原寿子	管財課長	堀修一郎
防災安全課長	竹崎雄一郎	地域コミュニティ課長	宮崎征二

市民課長	野 寄 正 博	税務課長	田 代 浩
納税課長	大 谷 賢 治	環境課長	高 野 浩 二
人権政策課長兼 人権センター所長	河 野 貴 之	国保年金課長	山 口 辰 男
福祉課長	井 本 正 彦	生活支援課長	江 坂 研 治
介護保険課長	立 石 泰 隆	保育児童課長	伊 藤 健 一
元気づくり課長	安 西 美 香	子育て支援課長	松 田 勝 実
ごじょう保育所長	江 坂 美 輪	都市計画課長	柴 田 義 則
建設課長	齋 藤 実 貴 男	観光推進課長兼 地域活性化複合施設本宰府館長	池 田 哲 也
国際・交流課長	松 井 百合子	産業振興課長	満 崎 哲 也
社会教育課長	添 田 邦 彦	社会教育課教育 施設整備担当課長	福 田 久 博
学校教育課長	鳥 飼 太	文化財課長	中 島 恒 次 郎
文化学習課長	中 山 和 彦	スポーツ課長	大 石 敬 介
会計課長	添 田 朱 実	監査委員事務局長	木 村 昌 春

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	木 村 幸代志	議事課長	花 田 敏 浩
書 記	阿 部 宏 亮	書 記	三 舛 貴 市
書 記	井 手 梨紗子		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

審査に入ります前に、各委員からの質問及び執行部からの回答や説明につきましては、委員会の効率よい運営のため、簡潔明瞭をお願いします。

なお、審査に当たりましては、事務報告書、施策評価、審査意見書、決算審査資料等を参照の上、審査をお願いします。

直ちに審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第1、認定第1号「令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

審査の都合上、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認めます。

審査に入ります。

決算書78ページの議会費から入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、80ページ、2款総務費、1項1目一般管理費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、2款1項1目職員給与費でございますが、職員の内訳を教えてくださいたいんですね。一般行政職、また会計年度任用職員と、内訳と人数が分かればお示しく下さい。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 皆様、おはようございます。

令和3年度の職員給与費についてお答えさせていただきます。

正職員といたしましては388名、それからフルタイムの会計年度任用職員が173名でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

- 委員（塚 剛委員） あと、臨時関係とかは分かりますか。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（佐藤政吾） 会計年度任用職員のパートタイム、パートタイムにも月給、日給、時給とございますが、こちらは短期間になりますので、一定期間勤務していただいた方が、また2回目、3回目雇用ということがございますので、なかなか人数の把握というのは難しいんですが、延べ人数で申し上げますと、会計年度任用職員のパートタイム、月給の職員が令和3年度17名、日給の職員が5名、時給の職員が434名でございます。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
- 橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） 002防犯対策費の中の14節工事請負費で防犯カメラ設置工事、これは毎年お聞きしているような感じがするんですが、今回336万円という、これは3台分でしょうか、どこにおつけになったのか教えてください。
- 委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。
- 防災安全課長（竹崎雄一郎） 令和3年度につきましては、4か所5台、天満宮の参道付近に3台及び朱雀踏切近くに2台。隣保館付近に踏切がございます。そちら付近に2台、合計5台設置しております。
- 以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） ありがとうございます。5台を含めて、市内には合計何台設置したことになりますか。
- 委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。
- 防災安全課長（竹崎雄一郎） 令和3年度末で21か所39台設置しております。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、82ページ、3ページの2目文書費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、84ページ、85ページ、3目法制費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、4目広報費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、86ページ、87ページ、5目財政管理費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 87ページ、財政事務費の新公会計支援業務委託料ですけれども、昨年度の予算額は390万円ほどだったかと思うんですけれども、大幅に減っていることの原因をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 令和3年度におきましては、要件等を整理いたしまして指名競争入札を行った結果、こちらの金額になったところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 金額は大幅に安くなりましたけれども、予定していた業務内容を変えることはなしに、指名競争入札にしたことでこれだけ安くなったと理解してもよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 業務内容は変更せずに、指名競争入札を行ったことで、こちらの金額になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目会計管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、7目財産管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 89ページの12節委託料の公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料なんですけれども、これを見ますと、グローバル・ライフ・サポート（株）というところが総合管理計画の改訂の支援業務一式という形で上がっていますけれども、この一式というところがよく分からないんですが、例えば更新という形で、有形固定資産の減価償却費率とかを毎年出すような形での更新という形なんですか。そういうことというのは、どこで公表とかというのはできるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） ここで公共施設等総合管理計画策定支援業務の委託料の中には、そういった市の固定資産管理という業務は入っておりません。それは別の委託料の中で支払いをしております。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ということは、これは総合管理計画の何についての業務の委託料になるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

- 管財課長（堀 修一郎） 今現在、庁内で議論しております公共施設等総合管理計画の改訂作業のたたき台をつくっていただく支援の業務になっております。
- 委員長（陶山良尚委員） 小島委員。
- 委員（小島真由美委員） たたき台をつくるというところでの支援。これはコンサルも入った業務になるのでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 管財課長。
- 管財課長（堀 修一郎） コンサルタントが、グローバル・ライフ・サポートさんが入ったコンサルティングの業務になります。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。
神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 2点あります。今小島委員の関連ですけれども、この管理計画を令和3年度中に策定をするというようなお話でしたけれども、一般質問の中ですかね、まだ進めている途中で、庁内3部門に分けてというようなお話でしたけれども、進捗としては今どのような状況か教えていただきたいと思います。
- 委員長（陶山良尚委員） 管財課長。
- 管財課長（堀 修一郎） 一般質問にもありましたとおり、現在庁内で進めている段階ですが、今策定委員会を3回、各部会に分かれて8回ほど、先ほどの委託の中で作成していただいたたたき台について庁内で議論している最中になります。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） もう一点、24節積立金の公共施設整備基金積立金、5億681万円積立ということですが、決算審査の意見書のほう、5ページのほうに、この公共施設整備基金の積立については、中学校完全給食実施のためにというふうな説明文がついていますが、今検討、準備されている中学校給食については、デリバリー式で業者委託というような形で進めるように聞いていますが、公共施設の関係、絡みはどうなっているのかというのを教えていただきたいと思います。
- 委員長（陶山良尚委員） 管財課長。
- 管財課長（堀 修一郎） この約5億600万円の中には、中学校給食のための資金も積み立てておりますし、また小・中学校とかの老朽化の資金も併せて積んでおりますので、中学校給食だけというために5億円という形ではないですね。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 説明文の中にそういうふうな表記がありましたので、何かしら特別に積み立てる意図があつて、この5億円というふうになっているのかなというふうに思ったんですけども、今回実施に当たっては、施設の改修とかも含めて、ここから今後出していくというようなことも含めてというような理解でよろしいですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

- 管財課長（堀 修一郎） 委員のおっしゃるとおりでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは次に、90ページ、8目契約管理費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、9目財政調整基金費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、92ページからですね、10目人事管理費について質疑はありませんか。
徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） すみません、002人材育成費、その中で内部研修が書かれてあるんですけども、メンタルヘルス研修というのがどうも自分の中でよく理解できてないんで、ちょっと具体的に教えていただければと思います。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（佐藤政吾） メンタルヘルス研修ですが、市職員を対象といたしましたメンタルに関する研修をいたしております。主に令和3年度につきましては、係長職を対象にメンタルの研修を行っている状況でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） 講師みたいなのは内部の方でされるんですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（佐藤政吾） 講師につきましては、臨床心理士の方をお願いいたしております。
- 委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） メンタル面で今、市の職員の方で休職の方とかいらっしゃいます。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務課長。
- 総務課長（佐藤政吾） 令和3年度では3名いました。
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 94ページ、2項企画費、1目企画総務費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、98ページ、2目公文書館費について質疑はありませんか。
木村副委員長。
- 副委員長（木村彰人委員） 98ページ、99ページのふるさと納税関連委託業務費の4億9,500万

円なんですけれども、こちらのほう、審査資料のほうが3ページです。これ、9億円の歳入に対して、歳出を考慮した収支を出してくださいという形で資料をいただきました。その中のふるさと納税関連の業務委託料4億9,500万円、これがポータルサイトの委託料と返礼品代を込みということなんですけれども、この内訳を聞きたいというのと、それともう一つ、県産品と地場産品があると思うんですけれども、その内訳もちょっと聞きたいんですが、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） それでは、まず1点目のふるさと納税関連業務委託料、こちらの内訳についてご説明いたします。ちょっと端数は整理をさせていただいて説明いたします。

内訳でございますが、返礼品代が約2億5,100万円、配送料が約1億400万円、事務費が約9,300万円、サイト利用料が約2,500万円、受領証発行代行が約1,300万円、その他経費が約1,000万円となっております。

続きまして、2点目のふるさと納税の県産品と本市独自の返礼品の割合でございますが、令和3年度の概算で、約8割超が県の県産品、福岡県の共通返礼品となっております状況でございます。

説明は以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の……。笠利委員、どちらのほうですか。

○委員（笠利 毅委員） 1目で。

○委員長（陶山良尚委員） 1目で。どうぞ。

○委員（笠利 毅委員） 98ページ、99ページ、総合企画推進費の報酬のところなんですけれども、ここ総合戦略推進委員の費用は出ているんですけれども、予算では総合計画審議会の費用が上がっていたと思うんですね。それがどうなったのかということをお教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 総合計画審議会でございますが、昨年度は実施はしておりません。開催しておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、あわせて、たしか4人4回分の委員を呼んで、分科会のようなものというのもあったと思いますけれども、そういうのも一切なかったということになるかと思うんですけれども、関連するんですけれども、市民意識調査委託料、12節ですね、委託料のところでも市民意識調査委託料も、総合計画の検証を含めて行うので、少し予算を多くしましたというような説明があったかと思うんですけれども、そちらはどのような内容で実施されたのか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 市民意識調査、令和3年度に実施した内容ですが、まず対象者を1,000人から2,000人に増加しております。プラス1,000人ということで増加しております。こ

ちらのほう、例年と違いまして、調査方法としましては、郵送でご回答いただく、もしくはウェブ回答も行うという形で、回答方法については、まず修正を加えているところがございます。

あと、内容につきましては、令和2年度実施分までは総合計画等に基づいた内容で調査項目等も掲げておりましたが、総合計画が令和2年度で期間を迎えましたので、令和3年度調査につきましては、総合戦略の内容を基に構成をいたしまして、その内容で調査を行ったところがございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 当時の私のノートからの記録でちょっと確かめたので、会議録まで当たる時間がなかったんですけども、総合計画の計画のほうの検証を含めて、市民意識調査を考えるというような話があったように思うんですけども、今のお話ですと、市民意識調査で総合計画、5年もしくは10年分の検証に当たるような項目としては、特別なことはしなかったというふうに理解してよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 例えば総合計画の検証ということで申しますと、令和2年度までの市民意識調査であれば、重要度と満足度というところは、総合計画に基づいた33施策の内容で調査をかけておりました。令和3年度につきましては、総合戦略の31施策に基づいて重要度、満足度を調査いたしまして、そちらの結果、令和2年度と令和3年度の結果のほうを効果検証、あとそのあたりのほうを今分析をしておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、今分析をされているということでしたけれども、質問の分類が変わっているので、検証方法とか分析方法の再検討のようなところから始めていると理解しておいてよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 例えば、まだ分析している最中ですので、確たることは言えないところはございますけれども、総合計画を対象にした満足度、重要度ですと、例えば結構分からないという回答をされる方が多かったところがございます。総合戦略を対象にしますと、これが減っているところもございます。恐らくこういった差異から、例えばじゃあどういった計画を持つのが望ましいのかということの一考にもなってくると思っております。

そういった意味で、項目といたしまして総合計画はどうでしたかという質問をしているわけではございませんけれども、当然その調査の中から、結局対象を変えたことによって、どういうリアクションが出てくるのかということがにじみ上がってくるところがございますので、そういった一環で分析をしているということを申し上げた次第であります。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の公文書館費について質疑はありませんか。

戻って。

じゃあ、小島委員。

○委員（小島真由美委員） 申し訳ありません。シティプロモーション推進事業なんですけれども、シティプロモーションツールでボールペンとかステッカーとか縫いぐるみとかを作成されているようなんですが、これはどういうふうに使われたんですか。私どもちょっと見たことがなくて、すみません、どういうふうに使われたんでしょうかね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） シティプロモーションツール作成委託料で作成したものにつきましては、市の各種イベント参加者の皆様に対して、参加等への記念品として配布しているということが非常に多いような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 配布という形ですね。販売ではなくて。

それと、大人が6,732枚、小児が210枚のシティプロモーション推進事業補助金を使っての散策切符なんですけど、この状況について教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） シティプロモーション推進事業補助金についてですが、こちらの内容につきましては、西日本鉄道株式会社様の太宰府散策切符割引販売に対する補助となっております。販売実績は、先ほど委員おっしゃられたように大人6,732枚、お子様が210枚ということで、こちらの往復券並びに梅ヶ枝餅2個つきと、あと各種クーポン券等の割引があるような形になっておりまして、決算額としては98万4,480円ございましたが、こちらを実施することで、利用者のほうも増えたというような結果も出ておったところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは早い段階で完売したとか、そういう状況もちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） すみません、予算額にはちょっと到達しておりませんので、見込みよりは少ないというような形になるんですが、事業実施期間が10月9日から3月31日までになります。やはりスタートした10月、11月、12月が、販売額が多いような状況となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 1目ですかね。

○委員（タコスキッド委員） はい、関連で。

○委員長（陶山良尚委員） 関連で、タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 先ほどの小島委員の質問に関する関連なんですけれども、シティプロモーションで作られたボールペンなどというのは、成人式に参列させていただいたときにいただいたものの中にもボールペンがあったようなんですが、そういうものだったのかというのが1点と、市内のイベントに関して配られたのか、市外での太宰府市のプロモーションとして配られたのかというのを伺いできればと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 成人式をはじめ市内イベント等で配布しているような状況でございます。

あとは、表敬訪問などで、例えば市外の方でも表敬訪問された際には、活用のほうをさせていただいている状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 1目についてはよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の公文書館費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、100ページ、3目の交流費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、102ページ、5目の地域づくり推進費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 105ページの細目003の地域コミュニティ推進費、委託料の高齢者向けスマートフォン講座委託料なんですけれども、スマホの利用促進で講座をされるというふう聞いていますけれども、これは地域づくり課のほうでされるようで、今年度も各自治会のほうに行かれて開催するというようなチラシも見かけましたけれども、これは高齢者の方に太宰府の公式LINEの活用だったりとかということにつなげる意図もあるんじゃないかなと思うんですけれども、これは地域コミュニティ課と高齢者支援課と連携するとか、何かそういうようなことは考えてあるのでしょうか。どのような取組になっているのか、少し教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 高齢者スマートフォン講座なんですけれども、令和3年度よりも令和4年度のほうが回数が増えてきている状況です。委員、チラシを見られたということなんですけれども、令和4年度につきましては、今まさに総務省の補助事業を事業者さんが受けて、自治会のほうでやられませんかというお声かけをさせていただいて、5つの自治会でやる

ことになるんですが、それ以外にも各事業者さんのほうと各自治会さんのほうでお話しされて実施されて、延べ17ぐらいの自治会で実施されるという状況なんですけれども、内容についてなんですが、内容が様々というか、基本的には基本的操作とLINEとかになるんですが、進んでいるところとかいうか、たくさん回数をされたところにおきましては、マイナポータルであったりマイナンバー申請、そういうところに及んでいるところもありますし、事業者さんとの希望によって、あと習われない方のどういうことを習われないかというメニューで、いわゆる講座内容をつくり上げていっていると。ベースには基本使用方法があるんですけども、LINEであったりマイナポータルであったりというのは、ちょっと自治会によって異なっていると、そういった状況で開催されております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 高齢者の方の活用、災害時の対応とか、自治会からの発信とかも、今できているところは体制も整ってきているので、そういうところのつながりも進めていけたらいいのかなというふうに思いますので、高齢者支援課のほうと少し連携を取っていただいて、事業者任せにならないようお願いしたいと思います。要望しておきます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、同じ地域コミュニティ推進費、003の中の地域運営支援助成金6,100万円。これは自治会のほうに出されている分だと思っておりますが、これ各自治会は繰越金が発生していると思っておりますが、その状況をちょっとお示しいただきたいのが1点あります。まずそこをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 地域運営支援助成金のほうなんですけれども、助成金につきましては、各自治会と各校区協議会のほうに助成金をお渡ししています。助成金の主な目的としましては、基礎運営とかいうか、各自治会の基礎運営になります。自治会のほうでは、やはり繰越金が委員おっしゃるようになっていますけれども、繰越金は、次年度の補助金が来るまでの運転資金にされてあるところとかも結構ございまして、繰越金の額も様々です。

この助成金に関しましては、基本的には運営なので、役員の活動費であったり事務費であったり、自治会の運営に充てるということが助成するという目的の一つにもなっておりますので、完全にこの事業に充てる、この事業に充てるというふうに必ずしも明確でないところもござい

ます。

ということで、こちらの助成金よりも、各自治会、区民の方が払われてある区費の積み上げのほう金額的にはかなり大きくなっておりますので、助成金自体は繰越し自体は出ておりますが、そういった見方をしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、助成金って、公金のほうの取扱いの考え方からいくと、繰越金が発生している場合は、何らか市のほうから、規則上が多分ないからそのままお渡しの状態だと思いますが、予算を見ても同額なんですね。ですので、このあたりは市のほうで一回精査すべき課題ではないかなというふうに思っております。どうしても必要な、地域地域によって事情があるというのは理解いたしますが、基本的に不用額、繰越金等が発生した場合は返還というのが財政上の考え方ではなかろうかと私は思いましたので、今後ルールブック等の検討もお願いしたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいいですか。

○委員（堺 剛委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、コミュニティバスの運行補助金等に関してなんですけれども、別途、審査資料をいただいています、そこで平均乗車密度とか書いてあるんですけれども、結構今ガソリン代も高騰しているというところの経費もかなりかさんでいると思いますし、コロナというところで、やはり平均乗車密度で1とか1.4とか1.75とか、あと地域線に関しては0.6、1 便当たり1人以下の運行状況なんですけれども、やっぱりそこら辺のあたりで、違う交通の方法であるとか、私が3月にご質問したときのプロジェクトチームというところをおっしゃっていましたが、今どういう状況、取組をなさっているかというのを願います。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） まほろば号の改正につきましては、これまでもずっと行っておるところなんですけれども、庁内のプロジェクトチームとしましては、改革に向けた職員間のチーム、また外部でいけば総合戦略推進委員会さんにご意見をいただいたりというふうな流れで、検討を現在のところは行っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） これは定期的な開催とかされていて、ある程度いつをめどに、改革に関してですけれども、そういう何か大きな予定とか、そういったのは入っているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） まだ具体的な目標時期というのまでは明確にできておりませんけれども、定期的にといいか、随時集まりまして、その内容について検討しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） プロジェクトチームを結成して今動いていらっしゃるということですか。

ね。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 同じく細目001の12節委託料で、バス案内システム委託料247万円余なんですけど、これは西鉄の子会社さんと思うんですけど、西鉄情報システム（株）なんだろうけれども、これは電子バス停ということで、どういう点検というか、年に何回の点検で、これはどこの点検になるのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 委員おっしゃるように、電子バス停8か所、主要な駅等にありますが、行き先案内とか、バスが今どこにいるのかとか、そういったところを表示するものでございます。点検自体は、保守点検料の削減のため、回数を減らしまして、必ず年に一回は行うというふうになっておりますが、通常の保守、システムの運営等に費用を要しておりますので、こういった金額になっております。

なお、機器をリニューアルというか、更新作業をかけておりましたが、保守のみという金額で昨年度は決算になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 003、18節の負担金、補助及び交付金の中で地域コミュニティ推進事業支援補助金、それと一般コミュニティ助成事業助成金、この事業の違いといいますか、内容について教えていただけませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 地域コミュニティ推進事業支援補助金のほうでございますけれども、補助金に関しては、各6校区ございます自治協議会のほうに、推進事業対象に関して補助を行っているものでございます。

一般コミュニティ助成事業というものの、助成金につきましては、宝くじ社会普及事業という一般コミュニティ、財団のほうから補助をいただいて、採択になった自治会がいろいろな備品、ステージ備品であったり音響備品であったりというのを買う補助事業、我々本市がやる補助事業じゃなくて、財団がやる補助事業ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） その補助事業の中身はわかりますか。宝くじ事業で申請された自治会と内容。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 令和3年度におきましては、追加もございまして3つの自

治会が補助を受けられております。まず、湯ノ谷西区、そして高雄区自治会、水城区自治会、以上3自治会となっております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、ちょっと聞き忘れました。先ほどの委託料のバス案内システム、これはバスの案内システムだけの保守のみということですので、保守点検で247万4,246円ということで、年に1回というようなことなんでしょうけれども、この金額が細かく小刻みなので、要するに保守点検する項目があつて、それに対して幾らとかという見積りなのか、それともここの委託料の考え方としてはどういう契約になっているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 保守ですけれども、現地に行って物を直接点検するのは、先ほど言った1回ということなんです、通常システムサーバーというか、そういうふうな点検はされております。細かい項目に保守が別れているというわけではございません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは一括していろいろなところが全部これは西鉄さんが担っているということで、西鉄グループというところなんです、これ入札かけるときに一括というか、こういうことも含めてもっと割安にできるとかということにはならなくて、やっぱり契約上はこういう形で刻みながらの契約になるということなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 毎年度、いわゆる値下げというか、なるべく値引きをしていただくようお願いはしております、回数を先ほど1回と申し上げたのも、以前は2回、3回とやっていた時期もありますが、回数も減らして、なるべくランニングコストを減らしている状況ではございます。

やっぱり西鉄のシステムに連動しますので、どうしても西鉄のグループ会社ということになってしまう関係がございますので、そういった金額に関しては、協議をずっとこれまでもやらせていただいているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） 恐れ入ります、1点訂正がございます。

先ほど小島委員さんからご質問いただきました99ページ、細節18負担金、補助及び交付金のシティプロモーション推進事業補助金についてでございますが、申し訳ございません、私、先ほど事業実施期間10月9日から3月31日までと申し上げましたが、こちらが令和2年度の実施分になりまして、令和3年度実施分は11月1日から3月31日までとなっております。

また、販売実績としましては、販売スタート後の11月、12月、1月が非常に売行きがよいというような状況でございました。申し訳ございません、おわびの上、訂正させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。
104ページ、3項徴税费、1目税務総務費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね。2目賦課徴收費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、108ページ、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費について質疑はありませんか。
木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） ページでいうと111ページの、これがコンビニ証明書発行手数料等というところで、決算審査資料のほうは4ページです。2つの資料をいただきました。にしのまどぐちでの証明書交付とコンビニでの証明書交付の2つの表です。まず、にしのまどぐちのほうは、大体発行数は横ばいという形でいっております。

そこで、ちょっとお伺いします。これ月額4万4,000円という形で委託料と使用料がかかるんですが、これ直営で職員さんがやっていたと思うんですけども、委託料というこの内容についてをまず。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） 昨年6月13日から開始いたしました西エリア証明書発行センター、通称にしのまどぐちについてですけれども、こちらにつきましては、委託料、戸籍総合システムの保守サービス委託料が2万2,000円、そして使用料、こちらは戸籍総合システムソフトウェアの使用料が2万2,000円ということで、合計4万4,000円が毎月の支出となっております。
以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） ということは、このほかに職員さんの人件費というのも、実はこれのってくるというふうに考えてよろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） こちらの費用につきましては、今申し上げましたのが戸籍総合システムですけれども、住民基本台帳システムにつきましては、地域包括支援サブセンターの既存の機器とシステムを使用しているため、こちらは表記しておりません。人件費、光熱費についても、正確な数字が把握できないため、表記しておりません。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） もう一つ、コンビニ交付のほうなんですけれども、こちらのほうは月額固定費が運営負担金と庁舎外交付システムの使用料というのが、これがかかなり大きくて、2つ合わせたら月額の74万4,000円もかかるという形で、掛けるの12、1年間ですと約900万円というすごく大きな経費がかかる中で、これ自体がどこの自治体でもやっているサービスなので、市民サービスというところでこれはやらざるを得ないんですけれども、かなりの経費が要ると。

実はこれ、ペイしようと思ったら、一月当たり4,000件ぐらい発行しないと合わないですね。実際これ、コンビニ交付についてはだんだん右肩上がり伸びてきています。それで、直近では719件と増えているんですが、まだまだこれコンビニ交付、知らない方が多いようなんです、ここら辺のこの周知徹底、広報とか、なるべくなら利用していただくというところで、少しでもこれ固定費用を抑えるというような取組が必要な中で、どのような形でこれ周知をされるのか、そこら辺をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） コンビニ交付システムにつきましては、マイナンバーカードが必ず必要となりますので、現在行っておりますマイナンバーカードの交付の推奨と併せまして、広く市民の皆さんにマイナンバーカードを持っていただきますように周知を徹底して行ってまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 木村委員のにちょっと付け加えなんですけれども、コンビニでの発行数というのが10月から比べてすごく伸びているんですね。それに比べて、にしのまどぐちに関しては、コロナの影響もあると思うんですけれども、結構横ばいで、今後またこっこのコンビニの交付に関して、マイナンバーカード普及ということでどんどんどんどんお力を入れるということなんですけれども、にしのまどぐちの交付に関しては、しばらくずっと当面は継続してされる感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） 一定数、必要という声もございますので、今後につきましては、利用者の状況を見極めながら検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長(宮崎征二) すみません、ちょっと訂正をさせていただきたいところがございます。決算書103ページ、小島委員にご質問いただいたバス案内システムの点検の回数なんですけれども、すみません、令和3年度は2回ございました。令和4年度から1回にする予定ではございますけれども、令和3年度時点はまだ2回ございました。

以上、ちょっと訂正をさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次に行きます。

110ページ、2目住居表示費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、112ページ、5項選挙費、そしたら1目選挙管理委員会費から2目、3目市長及び市議会議員一般選挙費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 113ページの細目003の市長及び市議会議員一般選挙費なんですけれども、これ予算組みのときには市議選と市長選と別々だったと思うんですが、同一投票日になったということで、予算と決算額の差額が出ていると思うんですけれども、どのくらい抑えられたのか、差額を教えてくださいませんか。

○委員長(陶山良尚委員) 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長(佐藤政吾) 当初予算の段階では、市長選挙、それから市議会議員選挙を別々に当初予算を計上させていただいておまして、その後、補正予算で一回全て落としまして、同時に市長、市議会議員一般選挙を補正予算で改めて計上させていただきました。実際に決算額といたしましては、幾ら削減できたというのが、実際に市長選挙自体は執行はされませんでしたので、決算額自体でちょっと比べるのは難しいんですけれども、予算的には112ページに補正予算で2,800万円ほど減額をしております。おおむねこの金額ぐらいが減額できたんじゃないかなと考えているところでございます。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですか。

ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、114ページ、4目衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次のページ、116ページ、5目県知事及び県議会議員一般選挙費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、118ページ、6目統計調査費、ここは1目統計調査総務費及び2目基幹統計調査費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、120ページ、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3款民生費に入ります。

1項1目社会福祉総務費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員(堺 剛委員) すみません、3款1項1目、002民生委員等関係費で、教えていただきたいのは、民生委員さんの委嘱数と本市の定員数と、内訳が分かれば教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 福祉課長。

○福祉課長(井本正彦) 民生委員の定数でございますが、98名でございます。これは主任児童委員8名を含めたところの人数でございます。現時点で3名の欠員ということでございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 今、各自治会では民生委員さんの推薦というのがなかなか困難になってきているということで、大変苦慮されております。これは各自治会のほうへのお願いというのは、福祉課のほうから行かれているんですか、それとも地域コミュニティ課が推進されているのか、その辺の役割分担というか、各自治会へのお願いの仕方について。

また、自治会の規模によっては、人数が1人とか2人とか、そこら辺で、今の働き方の中でも、予備というか2人で、1人しか定員がないけれども、2人でお願いしといて、いけないときはどちらかとか、何かそんなことができないのかとか、様々自治会長さんたちからお声を聞くんですけども、この民生委員の選定について、少しこれから考えていかなければならないこととかあったら、教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 福祉課長。

○福祉課長(井本正彦) 民生委員の選任、自治会のもし推薦がなかった場合の対応でございますが、民児協、民生委員児童委員連合協議会がございます。そちらの会長と私ども福祉課の職員が自治会のほうに参りまして、お願いをしているというような状況でございます。

ちょうど民生委員の切替えのときに欠員が生じるということで、そのときが一番欠員のときをお願いして回っているところではございまして、なかなか複数民生委員を選定していただいている自治会につきましては、それなりの対応をいただいているところでございますし、お一人で民生委員を、その自治会の中でお一人だけが定数のところ、こちらについては、今の

ところ欠員はございませんので、そこはお一人で担当されているというふうに思いますし、複数人であれば、もし欠員が出ているということであれば、そこにおられる別の民生委員の方が対応していただいているということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 125ページなんですけれども、細目007の委託料なんですけど、これは生活困窮者自立相談支援事業業務委託料、これは新しくいろいろこの辺の事業というのは始まっているんですけども、住居確保給付とか、事務報告書の28ページに件数とかいろいろなことを書いていただいて報告いただいているんですけども、これは重複したような形でのご相談があると思うんですけど、ここを請け負っているのがグリーンコープさんなんですけど、これは別々に契約という形になっているんですけど、別々に契約をされて、3つぐらいの業務で2,300万円ぐらいの委託料が発生していると思うんですけど、これはグリーンコープさんから何人ぐらい市に業務として携わっていただいているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） まず、12節の委託料、生活困窮者家計改善支援事業というのがございます。これは週5日の方が2名。次の段の就労準備支援事業、これは週3日の方が1名。続きまして、生活困窮者自立相談支援事業、これは週5日の方が2名、週2日の方が1名でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 例えばこれは成果報酬型の契約とかができないのか、可能かどうかまずお聞かせ願いたいのと、今この事業を始めて、自立するための様々な取組なんですけれども、この成果というか、自立ができたというか、簡単には難しいとは思いますが、取組の中で形になってきたというようなことがあれば、ご報告いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） 内容は、いわゆる生活保護に行くか行かないかのような方が多いです。中には、就労をしてこの相談から卒業される方、悪いケースですが、いわゆる生活保護に行かれる方、様々ございます。先ほどのちょっと出ていました住居確保給付金につきましても、この支援員の方が相談を受けて、手続等をされております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 住居確保が51件で、自立相談の相談件数が365件ということで、コロナ禍の中であって、かなりやっばり増えてくる可能性もまだまだあるということは分かるんですけども、先ほどちょっと質問いたしました相談件数は分かるんですけど、内容としては自立

という形のほうに行きつつあるというようなことで、今単発ではなくて伴走型で、この365件のうち何件ぐらいが今自立に向けていらっしゃるのか、それともこれは全部365件をそう考えればいいのかちょっと教えていただきたい、その辺が分からないので、すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） その辺のデータについてはございません。出すとすれば、もう全ての方のデータを今からチェックして出すしか方法がございません。ただ、新規の相談件数の推移からすると、令和元年度が166件、令和2年度が527件、令和3年度が365件というふうな推移になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。これ3つ、事業の中では相談体制、支援体制というのは少しずつ違うんですけれども、ただ、やっぱりこれは自立に向けた支援ということで、今ちょっと状況が分からないということでしたけれども、委託契約を、これ金額的にも2,400万円という金額で、今始まったばかりの事業ですので、そういった、どの事業でもやっぱりシートみたいなものは必要だと思うんですが、個人情報云々ということを外した中のデータというのは、やっぱり少し取っておくべきじゃないかなと思いますが、この辺の見解をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） 今のご意見を参考に、そういった成果に結びついた件数の把握は、できる限り今後行っていきたいというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、126ページ、2目老人福祉費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 129ページ、細目991の老人憩いの場整備事業費なんですけれども、この整備補助金は、これはどちらでされたのか、場所をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 老人憩いの場整備事業ですけれども、令和3年度は長浦台区のほうで公民館が、今までカーテンだったところをブラインドのほうに変更されております。そちらの工事費になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 127ページの敬老会関係費なんですけれども、敬老会関係費の中に、88歳、99歳、100歳の祝い金があると思いますが、これと敬老会費は重複しているということで認識していいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） おっしゃるとおりです。88歳、99歳の方にもカタログギフトをお送りしていますし、100歳をお迎えになられた方にも2万円のお祝い金が敬老祝いのほうから支出されております。今原田委員さんがおっしゃられました敬老会費のほうも、お一人単価2,500円ということで含まれている状態で交付いたしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 以前、今ちょっと聞いてないんですけども、自治会ではこの88歳、99歳、100歳の方は祝いを市のほうからもらっているの、自治会としてはもうあげないというんですか、そういうふうな考え方が自治会もちょっとあるようですので、そのところを自治会のほうに、これは市のほうからです、自治会は自治会であげてくださいというようなことをちょっと文書、文書じゃなくてもいいけれども、口頭でも言っていただけたらと思いますので、そういうふうに誤解されている自治会長さんもしらっしゃいますので、よろしく願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいいですね。

○委員（原田久美子委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前11時03分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長（陶山良尚委員） 委員会を再開します。

128ページ、3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、ちょっと教えていただきたいんですが、障がい者施設等推進費の18節の障がい者施設等従事者特別支援金の内訳についてお示してください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 障がい者施設等従事者特別支援金の内訳でございます。

市内で事業所を展開されているところに、一律10万円というところで給付を行ったところになります。対象事業所は市内に52事業所ございまして、そのうち46事業所から申請をされております。この給付した10万円の中身でございますが、従事者の方の手当であったり、あとは施

設内の消毒ですね、コロナ感染対策のための備品購入に充てたという事業所がございました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） これは執行された後に、評価等はされるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 各事業所から給付金の申請、それからその給付が終わった後、報告書を、どういうものに充てたかという報告書を提出していただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、130ページ、4目障がい者自立支援費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、飛びまして、134ページ、5目援護関係費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、続けて、6目重度障がい者医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 7目ひとり親家庭等医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、8目後期高齢者医療費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9目国民年金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138ページ、10目人権政策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、11目人権センター費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 141ページの細目002の南児童館についてですけれども、事務報告書の34ページに児童館の利用状況の数字をいただいておりますけれども、自主活動と学習の欄で利用者数が載っていますが、このスクール期間中は除くということで、別途、表が社会教育課のほうからあるんですけれども、スクール期間中を除いた日数、年間何日されてこの人数なのかと

いうことをちょっと教えていただきたいんですけども、お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） スクール期間中を除く自主活動と学習というお尋ねでよろしかったですか。

ちょっとこちら、また後ほどお答えしたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 142ページの2目児童措置費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 146ページ、3目教育・保育施設費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 151ページの細目004の病児保育関係費なんですけれども、今の病児保育は2か所でされていると思うんですけども、保育利用者の方は増設も含めて増えてきていますので、病児保育を利用される方も増えてきているんじゃないかと思うんですけども、その点、傾向としてはいかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 病児保育の利用者につきましては、コロナ前は500名ほどで推移しておりました。ただ、令和2年度につきましては、コロナの影響と思われませんが167名の利用ということになっております。令和3年度はちょっと盛り返しまして、378名の利用というようになっています。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 急に預けたいという方がほとんどだと思うんですけども、それで今のところ対応は十分にできているというような状況でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） おっしゃるとおり、事前の予約というのは必要にはなります。ただし、特に利用について何か支障があるというようなことは聞いておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 149ページ、003教育・保育施設費、その中の保育所等新規採用保育士家賃助成事業補助金、この150万円の内訳というか、何名の方が。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） こちらにつきましては、実績だけ申しますと、7園の13人分ということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 要望なんですけれども、筑紫野市、大野城市、それぞれ新規の建物が出来上がっているんで、今後、保育士不足という点で非常に、できればもう少し予算を増やしていただいて、補助事業をしていただければとお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 147ページの12節委託料の不用額8,600万円ぐらい、これについて説明をお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） すみません、もう一度。申し訳ございません。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、もう一度質問いいですか。

○委員（小島真由美委員） 147ページの12節委託料の不用額8,600万円余り、この金額についての説明をお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） こちらは一番大きいのは、私立保育所保育費用委託料ということで、国が定める公定価格に基づいて算定された分を、市内の認可保育所に委託しておる分ですが、こちらの不用額が7,890万円ほど出ております。こちらが大きなものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、150ページの4目学童保育所費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目001の委託料、ここは1社、（株）テノ、サポートが請け負っているんですけども、今学童保育所もどんどん増設とかもされながら、かなり人数も増えてきているんですが、これはこのまま1社でいく入札をかけるのか、複数でやっというかと考えてあるのか、その辺をお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 学童保育所の指定管理につきましては、令和3年度中に公募によるプロポーザルを実施して業者を決定しております。その中で、1社にするというように至った経緯としましては、学童の支援員の効率的な配置や運営の一括化等によりコスト削減が図れると、または全施設でのサービスの均衡が図れる、あるいは緊急時の連絡窓口が一本化され、迅

速な対応が可能となるというようなことを踏まえまして、1社に全て委託するというような形を取らせていただきました。

また3年後には、プロポーザルなり業者決定の必要がございますので、そのときには改めて状況を勘案して考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 補正がかなり、コロナ禍の前ぐらいから補正も大分上がってはきていたんですけども、補正でも、金額的には、妥当性が1か所というところではなかなか見えずらいところもありますし、その辺はよく検討をしていただくという方向で捉えとってよろしいですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） またしっかり検証しまして、検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 学童保育所の管理運営費なんですけれども、備品購入費ということで上がっているんですが、子どもたちが学童保育所で遊ぶ備品等に関してのこの金額でよろしいんでしょうか、それともそれは委託料の中に含まれているんですかね、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 令和3年度の施設一般備品としましては、机を買っております。これは委託契約の中でいろいろ取決めがございますが、金額によって、おおむねですけれども5万円を超えるような備品につきましては市のほうで対応するというようなことにさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 学校が休校になった場合、台風が来たりとかということで、前の日にあしたは休校にしますという連絡があった場合に、それと併せて学童もお休みになっていると思うんですけども、これはそういうことになると、親は仕事に行かないといけないけれども、子どもは家でお留守番とかというところで、ちょっと怖い思いをしている子たちがいるんじゃないかなというふうに思っているんですけども、そこら辺、指定管理側で1か所どこか緊急に開けておくとか、何かそういうことはできないんでしょうか。ちょっとすみません、決算とは関係ないですけども、もしご意見いただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 今のところそういった事例はないものと思っております。要は、学校が休校になれば、基本的には学童のほうも休所といいますか、お休みというようなことで対

応させていただきます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、152ページ、5目子ども医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 6目家庭児童対策費について質疑はありませんか。156ページまでですね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 153ページ、細目001の家庭児童相談事業費についてですけれども、事務報告書の39ページに家庭児童相談件数の一覧表があるんですが、その中で相談件数が多いのが不登校相談があります。18歳の高校生まで相談を受けているということで、小・中高ということになっていると思うんですけれども、家庭児童相談員の方が相談を受けられて、その後、当該の生徒さんの学校との連携だったりとか、家庭児童相談員さんで受けた相談を、その後どんなふうにつないでいるのかということをちょっと教えていただけないでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） お答えします。

こちらの相談を受けた場合、それぞれ相談者のご希望というのがありますので、学校に基本的にはつないでいきたいというふうには思っております。ただ、学校には言わないでくれといったようなことを、実名で言わないでくれというようなご家庭の方もいらっしゃいますので、そういった場合は相談員の中で相談しまして、必要に応じて少年サポートセンター等を通してながら、関係機関と相談を進めていっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 相談件数に対しての不登校相談というのが割合が大きいと思います、2割ぐらい、やっぱり。ここ何年かの傾向を見てありますので、それぞれ相談される方の希望もあると思うんですけれども、そこら辺、解決に向けて用意していただきたいと思います。要望しておきます。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 私は児童虐待の数が3桁になってきていて心配しているんですけれども、この児童虐待について、緊急性があったとか、またつなげて解決ができたとか、その辺の内容というのは分かる感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） 件数としては把握しておりませんが、緊急性がある場合は、即児童相談所のほうに連携しまして対応を行っております。児童虐待等で対応を具体的にしていないということはありません。実際、児童相談所を通して、ゼロ歳から18歳までということがございますので、保育所等からも案件としては入ってまいりますので、各関係、一番適正なところが面談等を保護者で行いまして、解決のほうに向けて行っているところで

す。  
ただ、そのときに解決できない部分につきましても、引き続き面談を行って、指導等を図っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） この児童虐待相談のうちに、今これは年齢層が広いんですけども、未就学の場合はそういった形で手は直接的に打てると思うんですが、要するに小学生、中学生以上になった場合、これは教育委員会との連携についてになると思うんですが、小学生以上の数がこの中でどのくらいなのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） 後ほどお答えしたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 数は後で結構です。教育委員会との連携というところは、もう即座にこの相談員さんが連絡をすぐつける形なのか、その辺の流れを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） 相談員のほうは、まず学校との連携ももちろん行います。それと、児童相談所との連携も行いますので、そこのところは一斉に関係機関と連携を取りながら対応に当たってっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、156ページ、3項生活保護費、1目生活保護総務費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 157ページの細目002の一番下から5行目ぐらいからなんですが、生活保護受給者就労支援業務委託料、それから被保護者健康管理支援事業業務委託料ということで、自立と、また生活習慣病をはじめ生活保護の方の健康管理なんですけれども、ここについての、委託をこれされてあるんですけれども、成果というか、この辺も少し必要だと思うんですね。その辺の見方もなんですけれども。成果報酬型の委託がこれが今後できないかどうかという話と、もう一つは、今の自立をしたというような件数、自立に導けたというような件数で

あるとか、その辺のことを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） まず、上段のほうの就労支援業務委託について申し上げます。

これは、現在委託しておりまして、生活保護者を対象に相談を受けて、就労に結びつけているところでございます。令和3年度で申しますと、実支援対象者は53名いらっしゃいまして、その中で就労した方が延べ20件、そのうちいわゆる生活保護を脱却された方が4世帯ございます。

続きまして、被保護者健康管理支援事業でございますが、これは生活保護者に早く、または健康診断の未受診者をなくすことにより、より早く病気を見つけて健康になっていただくということを目的しております。実績でございますが、令和2年度は健診受診が10件だったんですが、これを導入いたしました令和3年度につきましては、健康診断を実施した方が55名というふうに大幅に増えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 生活保護の方に対して、マイナンバーカードの取得促進はどういうふうな形になっているのか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） マイナンバーカードの取得促進につきましては、それぞれのケースワーカーが9名います。それが面談等において極力取得するようには勧めておる状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） この生活保護を支給するに当たって、支給するその基準というのがあると思うんですよ。私も少しは分かっているんですけども、どういうふうな基準でその生活保護を支給するような手続に入っているのか、お聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） それぞれ世帯の人数もしくは年齢構成によって違いますが、基本的に生活保護の基準を下回る収入の方が、基本的に生活保護の対象となります。一つの目安ではございますが、年齢にもよって違いますが、家賃を含めた約10万数千円が基本的な1人世帯の方の一つの目安でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 一応それは分かるんですけども、例えば生活保護を支給するに当たってのいろいろな条件、その金額だけの条件じゃなくて、その方の生活状況とかいろいろあると思うんですね。その状況判断はどういうふうな形でされているのかなという話なんです。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） それは相談員が2名いまして、大体1時間半から2時間かけて、その方の生育歴から含めて現在の収入状況等じっくり話を聞いてのお話になります。基準的には、先ほど申し上げた金額になります。当然、人数が多ければ、その分、基準は上がるというふうなシステムになっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 分かりました。ありがとうございました。

それと、生活保護を例えば切るといような感じの方というのは、今までおられたんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） 生活保護を廃止になる方は、1つには亡くなった方、もしくは市外に転出された方。一番好ましいんですが、就労によって収入が増えた方、先ほどの基準を上回る収入を得た方というふうになっております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、158ページ、2目扶助費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項災害救助費、1目災害救助費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4款衛生費に入ります。

1項1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 161ページの7節かな、健康づくり奨励品738万円。これの令和3年度の実績を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） この分は、令和3年度の実績としましては、2,508人……。

○委員長（陶山良尚委員） 聞こえますかね。

○委員（橋本 健委員） 聞こえません。

○委員長（陶山良尚委員） 聞こえないですね。もう少し。

○元気づくり課長（安西美香） 2,508人の方に奨励品をお渡ししているものになります。前年度よりは少し微減しているような状況がございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） もう少し細かく、1,000ポイント達成者、2,000ポイント、3,000ポイン

トありますよね。それから、お米を獲得した方とか、そういうその内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 細かい人数は、すみません、ちょっと手元に今準備してございませんけれども、割合的には前年度と変わらず、3,000ポイント達成した方が一番多く、それから1,000ポイントという形に、達成した方はかなり多い状況にはなっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ちょっとコロナ禍でどういう取組をされているかなと思って、状況を知りたいんですよね。これは令和2年度の実績を商品として差上げたことですよね。令和3年度も一応終わりましたけれども、大体増えているのか、どういう取組をされているのか、その傾向を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 令和3年度につきましては、横ばいから少し微減している状況がございます。確かに地域活動で収集されている方は少なくなっているような状況がございますが、達成者のほとんどの方は、歩くことであるとかラジオ体操であるとか個人で続けられるもの、あとは健診等を受けること等で、達成まで至っている方が多いようには思われますけれども、ポイントの分で内訳が書いてないものの中にはございますので、全体的なざっくりとした傾向ではございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、162ページ、2目保健予防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 168ページ、3目母子保健費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、170ページ、4目保健衛生費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、172ページ、5目公害対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目環境管理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、174ページ、2項1目清掃総務費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目塵芥処理費について質疑はありますか。178ページまでですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、178ページ、3目し尿処理費について質疑はありますか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 180ページ、5款労働費に入ります。

1目労働諸費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、6款農林水産業費に入ります。

1項1目農業委員会費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目農業総務費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目農業振興費について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目都市近郊農業推進費について質疑はありますか。  
神武委員。

○委員(神武 綾委員) 183ページ、細目001の都市近郊農業推進費の18節の補助金なのですが、地産地消推進補助金で72万8,500円上がっています。事務報告書の50ページで交付者数が28名というふうになっているんですけども、この地産地消推進事業に力を入れていくということで市長もおっしゃっていたんですけども、ゆめ畑に卸される方などを中心にとということでしたが、これは個人で卸されている方のみの方の人数なのかということと、あと事業所として登録されている方とかがいらっしゃれば、教えていただきたいんですけども。

○委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。

○産業振興課長(満崎哲也) 今のご質問でございますが、28名、こちらは個人の方になります。事業所の方でゆめ畑のほうに出荷されているということはございませんでした。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、184ページ、5目農地費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項1目林業振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 2目林業管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 市民の森の改修がいろいろ入ってきているようなんですけれども、施設の改修というのはどういうところの改修、修繕になったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 施設の修繕の箇所でございますが、まずは市民の森の春の森という、四王寺山の正面に向かって左側のほうになりますが、そちらの東屋の床、そちらのほう腐食をしていたということ、それから園内の木製の橋、こういったものの改修工事を行っております。また、一部のベンチの撤去であるとか、藤棚というのもございまして、その藤棚の支柱というのが非常に腐食していたということで、撤去をしておる、そういった工事を行っております。

また、そのほか園内の樹木の伐採、こちらのほうもやっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、186ページの7款商工費に入ります。

1項1目商工総務費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 商工振興費で001……。

○委員長（陶山良尚委員） まだ商工総務費。よろしいですかね。

○委員（橋本 健委員） 商工費じゃない。

○委員長（陶山良尚委員） 今から。

じゃあ、いいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、2目商工振興費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 商工振興費の11節、広告掲載料453万円、これについて内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） こちらの11節の広告掲載料でございますが、新聞社4社、こちらへの広告の広告掲載料ということで計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） よくわからなかったんですが、審査資料の5ページに広告掲載料が出ていますけれども、新聞広告4社出されているんですよね。差し支えなければ、4社、これいつの時期に出されたのかお尋ねします。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 4社ですが、日本経済新聞社、それから朝日新聞、読売新聞、西日本新聞になります。掲載の時期でございますが、今年の2月から3月にかけてでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 187ページの商工振興費、「梅」プロジェクトに関する資料を同じく審査資料の5ページと事務報告書の51ページを併せて見る中で、「梅」プロジェクトに関する商工振興費の716万1,000円、この執行内容、事業実施実績をお聞きしました。この使い道は分かったんですけれども、これはもともとが梅に関わる事業実施による効果の好循環ということでしたので、各使い道、これを執行したところでどのような効果が上がってきたのか、今分かる範囲でご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） この事業の効果ということでございます。ご質問でございますが、まず製品開発ということでございましたら、福岡農業高校のほうと各企業と共同しまして、従来からポテトチップであるとか太宰府梅サイダーといった製品を開発されておりました。その既存の製品のブラッシュアップをしながら、そのほか名立たる企業、そちらのほうと意欲的な製品開発を行い、また地元の和食店であるとかフレンチレストラン、こちらのほうでも限定のグルメやスイーツ、こういったものが開発されたという取組を行っております。その結果、9社10製品の製品を市としてもその開発を支援してきたというところ。それから、そのほとんどがふるさと納税の返礼品にもノミネートをされたというところになるかと思っております。

また、「梅」プロジェクトに関しましては、統一のロゴを作成いたしまして、太宰府の梅を使った製品のブランディングを行ったというところも、大きな成果かというふうに思っているところでございます。

それから、太宰府梅園構想、今年度から本格的に進めていくという取組でございますが、それに先んじまして、「梅」プロジェクト賛同者募集クラウドファンディング、こちらを実施い

たしましたところ、目標の100万円を大きく超える寄附が集まりまして、坂本八幡宮の裏にあります史跡地に約30本の梅の木を植栽することができたというところ、そういったところが成果になっているかと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） もうちょっと詳しくなんですけれども、先ほど橋本委員もちょっとご質問あったと思います。これ全国紙4社に対して広告を打ったわけなんですけれども、これなかなかこの広告による効果というのは分かりづらいと思うんですが、この広告を打ったところでの今分かる範囲のどういう反応があったのか、そこら辺、具体的に分かる内容があれば、ご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） この新聞はお出しさせていただいてはいるんですが、テレビ、ラジオとか、あと新聞にとどまらず、いろいろな雑誌のほうにも頻繁に取り上げられております。そういったところで大きな話題も生んだということで、ふるさと納税の寄附額にもつながっているんじゃないかなというふうに感じているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の関連で、「梅」プロジェクトなんですけれども、製品一覧のほうで10品、太宰府の梅を使ったものが開発されたということだったんですけれども、この「梅」プロジェクトが太宰府で梅を栽培することももちろん力を入れて進めていますけれども、企業誘致のほう、企業さんに来ていただいて、太宰府で例えば物を作ってもらおうというような、今進捗はどんなふうになっていますでしょうか。分かればお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 今後の進捗ということでございますが、現在、産業振興課のほうを中心にこの「梅」プロジェクトについては進めておりますが、なかなか市だけでやるというのは難しいところがございますので、外部にやっぱり委託をするというところにつきましても、検討を始めているという段階でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） すみません、その進めていく庁舎内の会議というのは、どこになるのでしょうか。総合戦略の会議ももちろん一般の市民の方とかも入って審議会がありますけれども、それとは別に、何か動かしている、産業振興課が中心にやっているというところがあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 今現在、この「梅」プロジェクト、それから企業誘致に関しましては、ビジョン会議というところで外部の方にもご意見をいただきながら、その方向性等につきましてご意見をいただいているというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、190ページ、4目観光費について質疑はありませんか。195ページまでですね。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、ちょっと確認で教えてください。193ページの観光事業推進費の中の観光地活性化補助金2,750万円、これの内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらのほうにつきましては、昨年補正予算で可決していただきました観光協会を中心とした観光経済対策、クーポン事業の費用になります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） その成果実績はどのように、所感のほど分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらのほう、観光協会さんのほうから事業検証の決算書並びにアンケート調査等の資料をいただいております。利用枚数が最終的に2万6,278枚、こちらは1枚1,000円になりますので、2,627万8,000円というような効果になっております。クーポンの実質上の換金率、こちらにつきましては87.5%となっております。

事業者からのアンケートの声といたしましては、ちょっと代表的なものだけかいつまんでご説明をさせていただきますが、クーポン券の売上げが上がったかというようなアンケート項目がございます。こちらにつきましては、もう大多数のところで増加したと。10%以上が35%、10%から20%以上が増加した、15%。30%以上が増加したというような企業さんもございました。

このようなクーポン事業を今後も続けてほしいかということでは、もうほとんどの方が続けていただきたいと。疲弊した観光業界が、タイムリーにこのようなクーポン事業をやっただいて大変助かったとか、これまで特に天満宮の裏手といいますか、北神苑といいますか、飲食店が多いようなエリア、こちらにつきましては、大型の旅行者向け、修学旅行であったりとか団体旅行向けのお食事がメインとなっておったエリアになりまして、ほとんど観光客の方がもうゼロベースになっておりました。こちらはクーポン事業も、参道でしか使えない券、神苑

でしか使えない券とを分別したおかげで、必然的に神苑のほうにもお客さんが流れていったというような効果が大変出たというようなこともいただいております。

大枠は以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。これから国のほうも挙げてインバウンドのほうに力が入って、経済活性化していくと思いますので、この活性化補助金は物すごく大事になってくる科目でございますので、そのあたりもご検討いただきながら進めていただければと思います。これは要望で終わります。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 観光事業の中で、193ページの18節のレンタサイクル事業、これは77万4,000円の補助金が出ていますけれども、この利用頻度というのは、今現在どんなふうですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 出てきますかね。

○観光推進課長（池田哲也） すみません、少し。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、また後から答えてもらっていいですかね、後ほど。

○観光推進課長（池田哲也） 大枠で、コロナ禍の中で令和2年と令和3年はほぼ横ばいの利用状況となっております。細かい資料も全て持ってきていたんですが、ちょっと手元で。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、後からまたご回答いただいてもいいですかね。後ほど。

○観光推進課長（池田哲也） すみません、後で。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか、船越委員。

じゃあ、ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目003の観光施設整備費の中の混雑可視化システム導入業務委託料という形で、これは可視化をして、どういうふうな効果的なことがあったのか、これがちょっとよく分からないんですが、少し説明をいただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらは、年末にこちらのほうの稼働をスタートさせていただいております。大まかには、今まで参道の状況というのが、これまで把握ができてはおりませんでした。行ってみないと、多いのか少ないのか、こちら辺が分からないところがやはりテーマになっておったところもございますが、そこにライブカメラを設置いたしまして、今現在のリアルタイムに365日24時間、参道の状況が見える化といいますか、混雑しているとか、今すいていますよとか、それが画面上で文字表示で分かるようになっております。

こちらの効果検証といたしましては、業者のほうも全国に設置している業者になるんですが、うちのほうの三が日のデータを取っていただいたところ、3日間で1万5,500件のアクセスがあったということで、全国に設置した中でも最高のアクセス件数だったというふうなこと

も聞いております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） すみません。

○委員長（陶山良尚委員） さっきの回答ですか。

○観光推進課長（池田哲也） レンタサイクルも併せて、すみません。

レンタサイクルの令和3年度の状況ですが、歳入でいきますと48万8,000円、件数に直しますと747件の貸出件数となっております。

併せて、令和2年との比較になりますが、ちょっと先ほど横ばいと申しましたが、歳入につきましては47万3,600円、そして貸出した台数に関しましても731台ということで、ほぼ変わらないような状況となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、先ほどの可視化システムの件で聞き漏らしました。これはあくまでも三が日という3日間の限定なんではないでしょうか。それとも、年末年始のどこからどこまでぐらいを今されてあって、今、参拝は分散型にもなっていますけれども、あくまでも年始というところで考えてあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 今申しあげました先ほどの1万5,500件という数値は、3日間の参道の入り口といいますか、太宰府駅前のロータリーの交番所の前に設置したカメラ、このカメラの設置をするに当たりまして、どこに設置すると最大の効果があるだろうかということで、筑紫台高校さんの前の大駐車場がいいのか、それともそのほかの場所がいいのか等を考えた結果、やはり観光にお越しになる皆様は、大多数が電車、バス、そしてお車、駐車センターの大駐車場のほうからということで、交番所の前に設置すると全てが拾えるだろうということで、そちらのほうに設置をさせていただいております。

3日間の取りあえず合計が、先ほどの数値になります。

○委員長（陶山良尚委員） 期間はいつ。

○観光推進課長（池田哲也） それで、期間は12月25日から1月24日になります。

今後につきましても、今のところ年間を通じてデータを蓄積しているような状況になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 193ページ、003観光施設整備費ですが、Wi-Fiに関することが

幾つか出てきていますが、政庁跡とかのVRですかね、ああいうものとかとの関係ですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） Wi-Fiの設置目的の一番は、やはりいろいろな観光情報がさくさくといえますか、スムーズにストレスなく取れるように、特に外国人の方々はWi-Fiというのが当たり前になっているということで、やはり観光地としてはWi-Fiが必要と。

それと、今委員のほうがおっしゃったように、やはりVRであったりとか動画関係ですね、こういうのはご自分のスマートフォンでは取得に時間がかかりますので、そこをスムーズにということで、このWi-Fi設置に踏み切っております。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 現在、Wi-Fi設置箇所が何か所とか、主な場所とかが分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） Wi-Fiにつきましては、13か所に台数で18台ということで設置をしております。主な観光地には、もう全て設置ということで考えていただいて構いませんが、太宰府天満宮は広い境内地になりますので複数台設置しております。あとは竈門神社さんであったり観世音寺、先ほどVRの政庁跡、坂本八幡宮も新たに設置しております。昨年、大宰府客館跡という施設もオープンしましたので、こちらにつきましてもつけて、設置が完了したというような状況になります。

これからにつきましても、新たに主要となる目玉の観光地ができてくると、そちらのほうにもまたつけていきたいなというふうに考えております。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） ちょっと教えていただきたいんですが、003の観光施設整備費の12節の自然歩道維持管理委託料なんですが、52万5,100円、これは場所はどこなんですか。分からないんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） こちらにつきましては、一応福岡県の事業の委託になります。九州自然歩道ということで、太宰府だけではもちろんございませんが、九州全体に自然歩道ということで設置されております。太宰府につきましては、筑紫野のほうからずっと入ってまいりまして、大佐野からスタート。そして、宝満山の一応山頂までの7.4kmが太宰府のエリアになります。大きくは大体ちょっと町なか、大佐野から四王寺のほうに来るまでは町なかを通ったり

もしですが、四王寺から宝満山のほうへ山つきをずっと歩いていくような形になります。その維持管理ということで、福岡県のほうから委託ということで受けております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） これは委託料ですけども、何名ぐらいの方でされているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 2名で一応お願いをしている、2名というか、個人が1名。契約内容が2本で、個人に契約と、それともう一個は業者さん、造園業者さんのほうに契約ということで、個人の方につきましては、自然歩道の大きなお掃除、ほうきで掃くような程度の、そして個人ではちょっとできないような倒木、台風の後の倒木であったりとか、木製の階段の崩落であったりとか、そういうのを業者さんのほうに主にお願いをしているような状況の2本立てですね。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで13時まで休憩いたします。

休憩 午後0時12分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長（陶山良尚委員） 休憩前に引き続き会議を再開します。人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 午前中の神武委員からのご質問にお答えいたします。

事務報告書34ページ、南児童館のスクール期間中を除く開館日は182日です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） 午前中の小島委員からのご質問の決算書153ページ、家庭児童対策費の家庭児童相談事業費関係の事務報告39ページ、家庭児童相談事業費の児童虐待相談の136件の内訳ということでご回答いたします。

未就学児が67件、小学生が52件、中学生が15件、高校生が2件の相談内訳となっております。

回答は以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それでは、194ページ、8款の土木費に入ります。

1項1目土木総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費につい

て質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。
木村副委員長。

○副委員長(木村彰人委員) 199ページ、細目001の道路橋梁新設改良事業費と、細目002生活道路改良費です。審査資料のほうで6ページです。これいただいたのが太宰府版ニューディールの実績と予算執行の状況という形で、側溝蓋の架設事業と河川改修事業と、公共下水道の蓋の更新事業、3つの事業の実績をいただきましたが、まずこれ、側溝蓋の架設事業、これについては平成29年度から粛々と取り組んでいる結構継続的な事業であります。令和3年度はかなり予算をかけていまして、6,100万円ぐらいをかけた。かなり進捗が進んだと思われ。これ全体事業量があると思うんですが、その約何%ぐらいを、かなり進捗したと思うんですが、達成されたのかをちょっとお答えいただければと思います。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 側溝蓋の架設工事につきましては、先ほど副委員長が言われましたように、平成29年度から実施をして、予定では計画では令和9年度に終了する予定で、今施工しております。今回、令和3年度におきましては、施工の延長約2,600m、普通一般は大体1,600m、約1,000mほど今回の予算で進捗を進めることができたというような状況です。ですので、令和3年度末までに全体計画の約54.3%が達成しているような状況です。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

そしたら、橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 同じく生活道路改良費、これは市営土木も含まれると思うんですが、報償金って何ですか、55万円の報償金。002の7節。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 恐れ入ります、後ほど答えさせていただきます。今手元に資料がありませんので、よろしくお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 分かりました。後でお願いします。

それで、審査資料の7ページですけれども、これは各自治会から要望が出ていますよね、たくさん。特に水城地区が非常にまだ未着手が多いみたいなんですけれども、全般的にこの未着手件数が209件ありますよね。これはどういうふうな対応をされるんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) もちろん209件の中には、特に用地買収を伴う、例えば道路の改良とか拡幅とか、そういうふうなものも含まれていきます。なるべく、もちろんこれは予算の関係

が非常にありますけれども、進めれるところは進めていきたいということで考えておりますし、自治会につきましても、何年も、複数年要望されてあるところもありますので、その辺考慮していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 分かりました。

それで、ちょっと私、気になるのは、この未着手を、各自治会にいついつまでにやりますとか、できなかったら、こういう理由でちょっと延びていますとか、そういう文書通知なんかはされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 基本的には、担当職員が自治会あたりの関係者と協議をして、市営土木の実施するところとかを協議しておるんですけれども、その中で簡単にできない理由とかは言っておりません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） その辺はきっちり後始末をしっかりとやっていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いしておきます。

○委員長（陶山良尚委員） 回答はいい。

○委員（橋本 健委員） 回答はいいです。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか、回答は。

そしたら、先に小島委員。

○委員（小島真由美委員） 同じく002生活道路改良費なんですけど、ここの中にスズメバチの駆除一式というところが入っていると思うんですが、基本的に今、結構スズメバチの巣が自宅にできたりとか、公有地にあたりとか、様々な形で今、蜂の巣が結構増えてきているという話が私のところにも来たりするんですが、基本的にはこれは自宅でするものについては環境課に言うとか、そこら辺、これは生活道路として市のほうがやりますけれどもということで、基本的なところはそこなんですけれども、こういうを見かけたというようなことがあったときの窓口というのは、基本的には環境課、それとも建設課というのは、公有地、私有地で市民が立て分けないとけないことになったほうがいいんですかね。どういうふうな今感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 建設課で実際蜂の巣の駆除をしている部分につきましては、道路用地とか、あと公園用地とかになってきます。あと、私有地につきましては、実際環境課のほうに状況を回すような形になろうかと思っておりますけれども、太宰府市の基本的な考え方は、やはり私有地についてはその所有者の方が行うと。だから、駆除業者あたりを紹介しているような状況

です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 通学路とか様々発見する場所が民地か公有地か分からなくて、私のところに連絡があったりもするんですね。おっしゃってくださったように、私の中で振り分けてご相談はするんですけども、一度ちょっと広報紙とかで蜂に注意とか、今、年度によって、例えばカメムシが発生したときも相当連絡があったりするんですけども、その年によっていろいろな状況があると思うので、できましたら、これはここで建設課のほうに言うことじゃないのかも分からないんですけども、そういう情報提供というか、窓口をちょっと分かりやすくしていただけたらなということでございました。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 要望でいいですね。

そしたら、馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、同じく生活道路改良費の件なんですけれども、単純に、すみません、いろいろな先ほど用地買収を伴う工事とか優先順位とかあるんですけども、その要望件数と実施件数が、極端に実施件数が多いところと少ないところってどういう理由なんでしょう。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 実際、要望件数の中には、簡単にできる工事、例えば側溝の一部補修とか、道路の若干くぼ地になっているところを補修していることとかも1件ということで数えております。それ以外に、やはり大規模な道路の拡幅工事とかあったり、要望されたりしますので、それが混在しておりますので、その要望の内容によって、若干その実施件数に関しまして差が出ているという状況です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 未着手の件数に関しては、これはもうずっと、その年度ではなく、ずっと繰越しがあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） そのとおりで、自治会によっては、数年そのまま要望されている事業もあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） あと、687万円ぐらい、これというのは執行できなかった理由とかあるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 実は、この687万9,400円の不用額が出ておりますけれども、そのうち

実際の002の生活道路改良費の道路改良工事費の執行残というのは202万5,500円でございます。あとの差額につきましては、001の道路橋梁新設改良事業費の執行残というふうになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） この決算に関しては、太宰府市全体のものではあると思うんですけども、地域によっての公平さというか、例えば実施件数20件のところが、その金額とかも公平性とか、そういったのはどうなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） なるべく公平にはしたいとは考えております。しかし、現実なかなかできないというのが現状でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 関連ですけれども、自治会の役員さんとかとお話しすると、自治会ごとにこの市営土木の予算が大体100万円ぐらいというふうに聞いているので、件数が多くても、その範囲内のできる分に対応してもらっているというふうに聞いたことがあるんですけども、そういう額の目安はあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） もちろん44自治会ありますので、やはり少しでもそれぞれの自治会に行き渡らせたいという考えで、予算の割り振りの中に、先ほど神武委員が言われたようなことも考慮しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） それと、地域によって、さっき橋本委員ですかおっしゃいました、件数がやっぱり多かったり少なかったりあるんですけども、これは地形的なものとかもあって、やっぱりそういうのも影響しているのかなというふうに思うんですけども、県との折衝だったりとか、あとまた高速道路での影響とかも何かあるというふうに、河川も含めて、そういう県側と交渉しないといけない、一緒にやらないといけない事業だったりとかというときは、自治会長さんと一緒に要望に行ったりとか、そういうことはされているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 例えば県河川の要望とかがありましたら、その要望書を私どものほうから県のほうに上げさせていただいております。必要に応じては、私、自治会長様と一緒にちょっと行ったことはないんですけども、基本的にはその要望書を県のほうに上げているというふうな状況です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 分かりました。ちょっと地元の件数が多いので、ここら辺の解決するためにどういうやり方があるのかなというのがありますので、そのところを自治会のほうとも話は重ねていただいて、できるだけ予算もつくようお願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 委託料の工事設計監理等委託料に入るのかな、空洞調査はここでよかったですかね。空洞調査はここでよかったかな。

道路路面下の空洞調査で、かなりこの近年、空洞が増えてきていて、陥没危険があるということで、今ずっと空洞調査を進めていってもらっているんですが、ここ数年の空洞調査の陥没した箇所が何か所ぐらいなのかというのを、ちょっと教えていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） すみません、陥没している、恐れ入ります、ちょっと数字はつかんではないんですけども、昨年度空洞調査をしました。その結果、実際いろいろ調査で8か所、緊急に必要なだというような結果が出て、この8か所について緊急に穴埋めをやったところがございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 二、三年前に同じことを聞いたときには、やっぱり20か所ぐらい陥没があったということで、結構ここ近年、陥没とかで、場所によっては本当に大きな穴が、ちょっと重大な穴があったりとかもしているんですけども、この8か所については、そしたら計画を立てて、予防保全という形でやっていくという形で考えておけばいいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） この8か所につきましては、既にもう対応をしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、198ページ、3目地域交通対策費について質疑はありませんか。202ページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。204ページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、204ページ、2目公園事業費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) ちょっとお尋ねしたいと思ったんですけども、公園台帳の管理を電子化というか電算化というか、するというような意見も出たことがあろうかとは思うんですけども、そういう計画を立てた場合に予算がつくとしたら、この公園事業費のところ立つものなのか、もしくはこの前の都市計画のところ立つものなのか、どういう分類になっていくだろうかということ、現時点で何か分かるのであれば教えていただきたいんですが。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) 電算化につきましては、もし電算を、一部やっではおるんですけども、するとする委託料を上げるとすれば、建設課のこの部分で上げるような形になります。

○委員(笠利 毅委員) 公園事業費。

○建設課長(齋藤実貴男) そのとおりでございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、206ページ、3目下水道事業費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目土地開発費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、9款消防費に入ります。

1項1目常備消防費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次のページ、3目消防施設費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目災害対策費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（陶山良尚委員） ちょっとお待ちください。

それでは次に、10款教育費に入ります。

1項1目教育委員会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、214ページ、2目事務局費について質疑はありませんか。

これが218ページまでですね。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 215ページ、細目003の学校教育運営費、これに関して資料をいただきました。決算審査資料の8ページです。タブレット端末を利用した学習の実施状況について資料をいただきましたが、実施状況はこれで分かるんですけども、各学校、7小学校、4中学校ありますので、この状況をどういうふうに把握収集されたのか、まずそれにお答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） タブレット端末を利用した学習の実施状況ということで資料をお示しをさせていただいておりますが、各学校の取組状況ということでよろしいでしょうか。

一律に学習を進めておりますけれども、整備も令和2年度中に終わらせまして、令和3年度、実際取扱いを行っております。実際のところ、授業の中で活用いただいたり、それから持ち帰り学習ということで、タブレットを持ち帰っての学習もしております。それから、コロナ禍における休校中の対応ということで、タブレットを活用した学習も各学校工夫をしながら取組を進めているところでございます。

よろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） そしたら、これは教育委員会学校教育課による各小・中学校の校長先生によるヒアリングか何かで確認したということよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 実施状況につきましては、校長会、それからあと教頭先生方の教頭会というものもございます。それから、ICTの担当の先生方もいらっしゃいますので、そういった研修会を通じて実施状況をお聞きしたり、情報収集を行っているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） ちょっと関連して、これ恐らく7小学校、4中学校ありますので、まずこれ、中学校と小学校の間でICT機器の活用については差があるように僕は思うんですけども、そこら辺で差がなかったのかということ。もう一つは、学校間ですよ。学校間それぞれ取組は分かるんですけども、多分差があるはずだろうと。あともう一つは、各学年間で差があるはずだろうと。そこら辺が合理的な使い分けであればいいんですけども、もしそれが合理的じゃない理由での活用が進んでないという状況が見受けられるんであったら、そこ

ら辺の状況をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） タブレット端末の取組につきましては、教育委員会からも積極的な活用を促しているというようなところでございます。

各学校で利用状況に差があるかといいますと、若干の差はあるかとは思いますが。それは先生方の活用の仕方というのものもあるかと思えます。それから、先生方の習熟度というのものもあるかと思えますので、そのあたりは先生方の習熟度を上げるように研修会を行っております。これは県、それから教育事務所、それから市もそういった研修を行いまして、先生方の習熟というのに取り組んでいるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） 補足させていただきます。

先ほど課長も申しましたが、研修会をやっておりますけれども、今委員おっしゃったように学校間の差であったりとか、学年間、特に小学校の低学年と中学校じゃあ、全く同じことはもちろんできないわけで、そこについてはそれぞれのICTの担当の先生から、学年だとか場面だとかでどのような活用をしたのかという事例を全部集めまして、そこをみんな見れるような形で共有化するような工夫もやっております。

また、本年度の教育の重点としてICTの活用というのを上げておりますので、特に来年度につきましてはこれから上がっていくものかなというふうにも捉えております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今のことに関連して思い出したので、ちょっとお伺いしたいんですけども、タブレットを導入するときに、キーボードがついているものにはするという話だったと思うんですけども、それ以前からあった中学校のPC、デスクトップは、今どのように使われているのかということと、あとこれは複数の人から聞いたんですけども、授業でタブレットを使うに当たって、教員用のものと生徒が使っているものでソフトウェアのバージョンが違っていたりすることがあるというふうに聞いているんですけども、そうすると、さすがに教科書が別のものでみたいな話ということにもなりかねないので、その辺どのような対応がなされているのかお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） まず、1点目の中学校のパソコンでございます。パソコン教室で活用しておりますが、現在も技術・家庭科等でそれは活用させていただいているところでございます。

それからもう一点……。

○委員長（陶山良尚委員） バージョンが違う。

○学校教育課長（鳥飼 太） 申し訳ございません。バージョンの違いということですが、それはないものと考えているところでございます。違うということはちょっと聞いてはおりませんの

で、そこはちょっと確認をさせていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 003の学校教育運営費の中で、7節でいじめ問題等対策連絡協議会謝礼というのがありますけれども、これは決算的には2万9,600円なんですけど、年間にしたらどのぐらいの協議会を何人でされているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 少々お待ちください。

報酬をお支払いさせていただいています委員さんは4名いらっしゃいます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 4名はいいんですが、年にどのぐらいのこの協議会を開催されているのかというのを聞きたいんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 失礼しました。ちょっと資料を確認しまして、後ほどご回答させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 217ページの細目004不登校対策費に関連してですけども、事務報告書の55ページの中の適応指導教室在籍児童・生徒数がありまして、利用生徒数が上げてあるんですけども、小学生のほうは合計で令和3年度が7名、中学生が13名というふうになっているんですけども、小学生は令和2年度よりも減っている傾向で、生徒が利用しなくても学校に行けているというような状況というふうにも見れますし、使いづらくなっている、ここにも来れずに家にいて過ごしているというお子さんもいるんじゃないかなと思うんですけども、そこら辺はどんなふうに見ていますでしょうか、この数が減っているということについては、お伺いします。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 確かに減っているということではございますが、実際、適応指導教室は、中学校4中学校に適応指導教室を配置しております。それから、令和3年度には2小学校に適応指導教室を配置させていただきました。水城小学校と太宰府小学校とですね。という意味では、利用がよりしやすくなっているものと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

そしたら、馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 神武委員の質問にちょっとつながるんですけども、定期学校訪問の情報共有が117というのは、117回ということですか。117件ということですか。実際そこは、そこから不登校の実質の状況というのは拾えているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 失礼しました。こちらは回数でございます。117回ということでございます。

それで、こちらはこういった情報交換を行うことで、情報共有をさせていただきまして、不登校児童・生徒の解消に努めているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 実際そこで出てきた数字とか、そういったものは拾えている感じですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） スクールソーシャルワーカーの先生でありますとか、そういった方々の報告書を、一人一人の対応の報告書というのを毎月報告をさせていただいておりますので、その確認は教育委員会の中でもさせていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。神武委員が先ほどお話をされたんですけども、やっぱり不登校に関しては、私もこれちょっとすごく興味がありまして、2020年度では不登校の数字が過去最高ということになっているんですけども、その割には太宰府のほうは利用者数は減っているという形ですけども、逆に本当に学校に行けてない児童とか生徒に関しては、数字の把握とかその対策は講じていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 不登校児童・生徒の対策ということで、様々な取組をさせていただいているところでございます。例えばつばさ学級、校外の適応指導教室でございますけれども、こちら第2のつばさ学級ということで、中央公民館、プラム・カルコア太宰府の一室を借りまして設置をさせていただきまして、そちらで個別学習とかに取り組まさせていただいております。

それから、筑紫女学園大学と連携したキャンパス・スマイル事業、そういったものも実施させていただきまして、より広く不登校児童対応の事業ということで実施をさせていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 太宰府ではないんですけども、不登校に関して、今フリースクールとかいろいろあるんですけども、学校でオンラインを使ってそういうなのも参加してもらえれば、要は出席と扱うという感じというのは、太宰府も同じなんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 出席の取扱いでございますが、不登校児童・生徒のオンラインを通じたということで、ここは今調査研究をしております、実際どういったことができるのかということで、その取組を進めようということにしております。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） ちょっと補足も含めて。

文科省のほうから、その出席の取扱いについての通知は下りてきておりますので、そこに従って進めております。オンラインを使って学校の授業を受けるとか、あとフリースクール等についても出席扱いになるとか、そこは文科省の通知に従っております。

ただ、全てがいいですよということではなくて、その子の状態だとか、もちろんその授業の形態だとか、それによって異なりますので、一概にどういう形だということの一つにまとめて言うことはできないんですが、個別の対応をしておるということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、教育委員会としては、今後実施するに当たって、オンラインでの出席という形を認めるという形のやり方って、どう思われますか。要は、オンライン、学校で……。全然違いました。

○委員長（陶山良尚委員） だんだん一般質問化してきょうけん。

○委員（馬場礼子委員） すみません、申し訳ありません。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） 文科省は、オンラインでやるのが、逆に不登校を助長してしまうことにならぬようにということでは言っていますので、それに従っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 関連して。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 教育委員会は不登校対策をやっていますって、だから、つばさ学級、第2のつばさ学級を設置したと。ただ場所を提供しているだけであって、実際、不登校児童・生徒に関して直接、要するに学校に言ってどうのこうのだと思うんですね。教育委員会がはっきり言って解決策を講じているとは、私、一切思っておりません。今後やっぱり学校と連携してやらないと、解消しませんよ。意見だけ言わせていただきます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、小島委員。

○委員（小島真由美委員） 219ページの工事請負費の中の施設改修工事の、これは教育支援センターの外壁の塗装の金額が約300万円上がってきています。この建物自体が相当古い建物に位置するんですが、これは浮いた外壁を補修するぐらいで大丈夫だったのか、そのときの調査が必要かなというようなことが発生したのか、また基礎部分とかは大丈夫なのかとかという見解

をお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） この教育支援センターにつきましては、今年度、委員おっしゃいますように外壁工事をさせていただきまして、昨年度もトイレ等の改修等を行わせていただいております。確かに50年近くの築年数がありますので、今後の利用につきましては、検討事項だと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今回は外の壁が浮いた状態で、臨時的に改修工事を行ったけれども、これで大丈夫だろうという見解として捉えていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 現在のところは、外壁の工事でもたせるといいますか、継続的に使用していくというようなことで判断をさせていただいております。

また補修が必要なところがございましたら、また補修をさせていただいて、また継続的に使用したいと考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、ありがとうございます。

もう一つ、すみません。文化スポーツ振興財団への補助金が入っておりますが、今、市の職員としては、ここについては今派遣職員は何人いらっしゃるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） 4月1日時点で市の職員は4名配置しております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうでしたら、次に218ページ、3目人権教育費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 細目001の南児童館指導事業関係費ですけれども、事務報告書の55ページ、56ページ、57ページで児童館での活動の実績があります。以前にもこれ質問したことあるんですけれども、やっぱり利用している子どもたちが1日当たり四、五人だったりとか、やっぱり少ないように思います。57ページのスクールの主な活動ってありますけれども、これは長期休みの間の活動だということなんですけれども、これも1人、2人とかというような中身になっています。地域住民の方限定の施設ということで、こういう人数にはなってしまうとは思いますが、この児童館自体の建物、使い方自体をやっぱり変えていかないといけないんじゃないかなというふうに思うんですけれども、その点はこの利用者数からいって、今のと

ころそういう話、議論なんかは庁舎内でされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 児童館の活動につきましては、太宰府市の人権センター条例というのがありますので、それに基づいて実施しているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 人権センターの一つというところでの児童館なので、解釈としてはそういうことになるのかなと思いますけれども、今後またよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、220ページの4目特別支援教育費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） すみません、221ページの細目001教育支援委員会関係費で、資料請求させていただきました。9ページなんですけれども、支援委員会の回数が年間で13回行われて、対応した人数が241名ということで数字をいただいているんですけれども、これは延べ人数というふうに書いてありますけれども、お一人カウントでいくと何人になるのかということと、これ実施回数が増えてきているんじゃないかなと思うんですけれども、相談があったときに細やかに対応して、その都度開催して判断していただいているのかなと思うんですけれども、この相談人数はどういう傾向なのかということをお教えいただけますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） まず、延べ人数かどうか、実数ということなんですけれども、ほとんど1回での審査で終わっておられますので、ほぼ241名で間違いのない数字だとは考えております。中には複数、2回という方もいらっしゃるかもしれません。

それから、過去の回数ですけれども、令和元年度でございますが、16回開催をしまして、164名の方の審査をさせていただきました。令和2年度は12回で196名の方の審査をさせていただきましたので、増えていっているというような状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、222ページ、5目幼稚園費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。227ページまでですかね。

よろしいですかね。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 227ページの細目003小学校施設整備費、ここの14節の工事請負費関係だと思んですが、これは校舎改造工事のこの費用の中に、今進行中の水城小学校の工事費の一部が入っていると思います。それで、この令和3年度の実績と、現状の進捗というか、そこら辺が分かる範囲でお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 回答させていただきます。

令和3年度の進捗といたしましては、まだほとんど動いておりませんので、設計ですね、主に、令和3年度としましては設計業務、令和4年度から建設工事にというところで、現在2回の説明会を実施してというところになるかと思えます。

今後ですけれども、現在本体の工事の入札をしております、今度9月21日の議会連絡会のほうで、現在仮契約にしております分を本契約にということで説明をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 情報としては、電気と機械の入札業者の案件が上がってくるとは聞いていますけれども、建築本体が不落になったという話を聞いたんで、そこら辺の関係で、スケジュールの大幅な変更とかの可能性とかないのか、分かる範囲でお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 詳細につきましては、9月21日の議会連絡会で報告させていただこうと思いますが、現時点ではないものというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、228ページ、2目の教育振興費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 認定児童数が令和2年度は814名、令和3年度が854名ということで40名増えているんですけども、自分としてはちょっと増え過ぎじゃないかなとか、その辺の実態とか、ちょっと具体的に説明していただけたらと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 就学援助の対象児童数ということでよろしかったでしょうか。

確かにおっしゃいますように、令和2年度に比べますと、令和3年度は約1%の認定率の増加がっております。ただ、そうですね、これは申請をいただいているということで、それを審査をさせていただいて認定をさせていただいておりますので、より多くの方に申請いただく

ような工夫も続けておりますので、その結果ではなかろうかとは考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 全体的というか、低学年の子が多いとか、そういうことじゃなく、全体的にもう申請が多かったということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） ちょっと細かい数字は持ち合わせておりませんが、そのように考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項中学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） どこに当たるのか分からないので、ちょっと教えていただきたいんですが、学校管理費の中学校施設整備費になるのかな。学業院中学校の大宰府政庁側のところに駐車場的なものが整備されていると思うんですけども、アスファルトで。あれは駐車場ですかね。ちょっとそこら辺が分からないので、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 学業院中学校の東側のということでございましょうか。道路沿いのですね。

今、水城小学校の改築工事をさせていただいておりますので、先生方の駐車場と、あと保護者の方がいらっしゃるときの駐車場が確保できないということがございましたので、仮の駐車場というような形で使わせていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） じゃあ、水城小学校の改修工事が終了した後は、もうきれいなアスファルト、ああいうのはもう全部またのけて、更地にするとかという感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 現在、仮の舗装工事をやっております、それほど厚みもありませんので、水城小学校の工事が済みましたら、また舗装を剥がして更地に戻すという計画にしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

そしたら、小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、229ページの14節なんですが、工事請負費の不用額が大きいと思うんですが、この件についてちょっと説明をお願いしたいと思います。不用額が974万円。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） ご説明します。

974万2,400円ですが、入札減いうところで考えております。理由としましては、入札減というところで考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、もう少し詳しく説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） すみません、もう一度詳細について確認して、後ほど報告させていただきます。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

そしたら、徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 231ページの委託料、中学校運動部部活動外部指導者派遣事業委託料、約250万円ですけれども、非常に支給できないような、予算的に問題はあるかなと思っていたんですが、今後、地域に移行するというので、テレビニュースとかで見ていると、中学校の合同部活動をし、そのニュースはダンスだったんですけれども、年間1万8,000円ぐらいは市のほうで負担するとか、いろいろなことが起きていますけれども、中学校の先生の働き方改革で、今は学校の先生は特勤手当といって県のほうから出ていると思うんですが、具体的な国からの補助金であるとか、市として子どもたち、今でも社会体育とか、クラブチームへ行っている子は月1万5,000円とか払って行っていると思うんですけれども、そういう全体的な方向性とか、まだ決まってないですよ。何か今述べられることがあったら言ってください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今年度になりまして、福岡県のほうから中学校部活動の実態の聞き取り調査がございました。その後、県のほうから、今月中、今月末ぐらいだと思いますけれども、一定の方針が示される予定になっております。それから、その後、また年度末に県のほうから方針が示されるというところまでお示しをいただいておりますけれども、具体的な部分がまだ国からも県からも出ておりませんので、ちょっとまだ詳細の部分についてはお答えができません状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 中心は子どもたちなんで、子どもたちに影響のないようにゆっくりのんびりやっていってください。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、232ページ、2目教育振興費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そしたら、234ページ、2目青少年教育費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、238ページ、4目図書館費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次に、5目公民館費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 239ページ、細目001の中央公民館管理運営費の委託料で施設管理委託料が4,751万5,490円と上がっていきまして、事務報告書の136ページで清掃業務や受付管理、それから舞台装置などいろいろ合わせての4,700万円なんですけれども、その中の上から2番目の中央公民館・市民図書館受付管理業務委託という委託名がありますけれども、これは市民図書館の受付も入っているということなんでしょうか。ちょっとよく分からないので、その中身のことを教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 文化学習課長。

○文化学習課長(中山和彦) 今ご質問の中央公民館・市民図書館受付管理業務委託ということなんですけど、まず受付業務につきましては、中央公民館の受付業務の内容になります。管理も入っております、この管理というのがプラム・カルコアですね、中央公民館の建物の管理になります。そういう内訳になります。

図書館につきましては、指定管理の中で行いますので、図書館の受付業務は入っておりません。

○委員長(陶山良尚委員) 神武委員。

○委員(神武 綾委員) 図書館については管理業務だけということですか。はい、分かりました。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 学校教育課長。

○学校教育課長(鳥飼 太) 先ほど笠利委員さんからご質問がございましたタブレット端末の先生と生徒のバージョンの違いがあるのかというお尋ねだったんですけれども、確認いたします

と、多少の違いはあるというようなことでございました。ただ、基本的に動作には問題がないということで確認を取っております。

以上でございます。

それからあわせて、船越委員さんからご質問いただきましたいじめ問題対策連絡協議会の回数ということでございましたが、2回開催する予定でございましたが、1回は参集しての実施をいたしました。もう一回は書面のみの開催と、コロナ禍でございましたので、書面のみの開催ということで実施をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいでしょうか。

社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） すみません、続きまして、先ほど小島委員さんのほうから質疑をいただいた分で、ちょっと答えが出ませんので、追加で答えさせていただきます。

まず、決算書の229ページ、14節のところの工事請負費の974万2,400円の不用額の部分ですが、事務報告書の134ページをお願いします。

事務報告書の134ページの上から大きく2つ、校舎等補修工事969万5,400円、もう一つ下の施設改修工事719万6,200円、こちらの2つを足しまして支出済額の1,689万1,600円になりまして、予算のほうから差引きしますと不用額が974万2,400円という形になっております。この部分の無駄な事業はしなくていいという部分もありますので、この部分の入札残がどうしてもこれだけ出てきているんだろうと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 何かよく分からんですね。よろしいですかね。

関連して、木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） すみません、関連して。落札率が低かったということなんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 全て落札率が低かったということではないと思いますが、主に営繕工事とかという部分もありますので、それとか空調の工事とかその部分もありますので、随意契約の部分もありますので、全て落札率が低かったという回答はちょっとできません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 要するに、予算の立て方がちょっと多かったということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） 予算をあまりにも大きく上げ過ぎたということはあるとは思っておりませんが、年間を通じて、空調の更新の工事も多いんですが、空調の電気

製品とか少し安く製品が入ったりしますので、そこら辺も原因かなと思います。入札はしてないと思いますけれども、製品が値引きとかもありますので、空調は特に前後する機械でもありますので、その辺が大きいのかなと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 不用額というところは、やはり何かしらの理由が明確じゃないとやっぱりいかんと思うんですね。なので、予算の立て方、今回のことを踏まえて少し考慮されたほうがいいのかと若干思ったもので、ちょっと質問させていただきました。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 歳入歳出予算書198ページ、199ページの002生活道路改良費に関しまして、先ほど橋本委員さんのほうから7節の報償費に関してちょっと質問がありましたので、ご回答申し上げます。

この報償費につきましては、土地の境界に関する相談対応に対する弁護士の報酬になります。

以上でございます。

また、付け加えまして、先ほど小島委員のほうから空洞調査に関する質問に対しまして、私に対応箇所を8か所ということ言っておったんですけども、6か所の誤りでございます。訂正とおわび申し上げます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、ちなみにその6か所の場所が教えていただけるのであれば、教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 申し訳ございませんが、今すみません、手元に資料がありませんので、申し訳ありません。後ほどまた報告させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、公民館費についてはほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、ここで2時15分まで休憩いたします。

休憩 午後2時05分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時15分

○委員長（陶山良尚委員） 会議を再開します。

文化学習課長。

○文化学習課長（中山和彦） すみません、先ほど小島委員さんのほうからご質問がありました振

興財団の正職員の人数なんですけれども、私のほうが事務局の人数は4名ということで間違いないんですが、あとルミナスの館長と、あと市民図書館の館長、それとふれあい館の館長が再任用で3名いますので、合計しますと7名ということになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課教育施設整備担当課長。

○社会教育課教育施設整備担当課長（福田久博） すみません、先ほど小島委員さんのほうから質疑のありました分ですが、決算書の229ページ、不用額が974万2,400円の分なんですけど、流れとしましては、令和2年度、前年度に設計をしまして予算計上するというふだんの流れなんですけれども、今回の分は当該年度に設計をさらにしましたので、設計を見直して少し下がりましたので、入札残が出たと、安く抑えることができましたという報告をさせていただきます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 先ほどの小島委員からの対応の具体的な場所なんですけれども、一応市道としましては水城四丁目1か所、ここについては水城台になろうかと思えます。あと、観世音寺六丁目、これは東観世になりますけれども2か所、あと石坂三丁目、これについては1か所ということです。あと、青山一丁目、ここにつきましては東ヶ丘、ここについては2か所ということになっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、240ページ、6目文化財整備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、242ページ、7目文化財活用費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、244ページ、8目文化財調査費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、250ページ、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、11款に入ります。災害復旧費。

1項1目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 委員長（陶山良尚委員） 次に、2項農林水産業施設災害復旧費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 3項公共土木施設災害復旧費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 4項その他公共施設・公用施設災害復旧費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 5項1目その他施設等災害復旧費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、12款公債費、1項公債費、1目元金、2目利子について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、14款予備費、1項1目予備費について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、歳出全般についての質疑を行いまして、歳出の審査を終わりたいと思います。  
質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 歳入に入ります。  
30ページ、1款市税から入ります。  
質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 次に、32ページ、2款地方譲与税に入ります。  
質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、3款利子割交付金、続きまして4款配当割交付金、次のページまでですね、質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 次に、5款株式等譲渡所得割交付金から、もうこれは10款の地方特例交付金まで質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 次のページですね、11款地方交付税について質疑はありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） 12款交通安全対策特別交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、13款分担金及び負担金について質疑はありませんか。

木村副委員長。

○副委員長(木村彰人委員) すみません、37ページの2節です。児童福祉費の負担金の中で収入未済額のほうがちょっと金額が多いんで、2,100万円と上がってきています。それで、不納欠損のほうも78万9,000円という形で決算が上がってきているんですけども、これの内容と、これからのこの取扱いの見込みをちょっとお伺いしたいんですが。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) 児童福祉費負担金の分の不納欠損額78万9,425円につきましては、保育料の分の不納欠損の分でございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 木村副委員長。

○副委員長(木村彰人委員) それともう一つ、収納未済でこの年度の会計の締めに関に合わなかった2,100万円のほうですね、これ多分、次年度あたりに取扱いがあるのかと思うんですが、こちらのほうの説明をお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 保育児童課長。

○保育児童課長(伊藤健一) おっしゃるとおりで、こちらも保育料の分になりますが、当該年度に収入し切らなかった分ということで、翌年度以降、過年度分ということで徴収を続けていくこととなります。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次に、38ページ、14款使用料及び手数料ですね。これがずっといきまして46ページまでですね。質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 43ページの6目土木使用料の公園使用料のうちの公園施設等使用料1万2,430円ですけども、これは予算どおりの収入になっているんですけども、歴史スポーツ公園の6つの倉庫の分だったというふうに聞いていますけれども、恐らく来年度もこういう収入があるかと思うんですが、これは6棟全部寄附を受けて市のものになったというふうに考えておいてよろしいんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(齋藤実貴男) そのとおりでございます。

○委員長(陶山良尚委員) 笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 寄附に際して、寄附の届出書というのを受け取ったかと思うんですけども、それも6棟分あったということなんでしょうか。

- 委員長（陶山良尚委員） 建設課長。
- 建設課長（齋藤実貴男） そのとおりでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。
- 委員（笠利 毅委員） 来年もこの予算、収入見込みとして入ってくると思うんですけども、予算額として。寄附を受けるに当たって、市が何かしらの義務を負わなければならないような形だったら、議決が必要だというのが地方自治法にあったかと思うんですけども、これはもともと使われていたところが、自分たちのほうが不法に置いていたものを寄附して、それが市として使用料を取っているという形で、このままいくと、形式的にはいいんですけども、実質的には寄附の在り方としてとてもまずいこと、疑いの目を向けられるようなことになってくるんじゃないかと思うんですけども、来年は何かしらほかの団体も使用する可能性が出てくるような取扱いとか、事務的な、していくようなことになっていくんでしょうか。ちょっと予算立てを心配しているのでお聞きしたいんですけども。
- 委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。
- 都市整備部長（高原 清） こちらの公園施設等使用料につきましては、今委員さんがおっしゃられたとおり寄附をいただきまして、体育用具倉庫ということで市のものに現在なっております。市の所有物でございますので、そちらの使用についてはお金を払って使用いただいているというような状況でございます。来年度以降、その使用者がどうなるかというのは、現時点では未定でございますが、ただし基本的には公園の使用をされる団体のための利便性向上のためにというところを前提に置いておりますので、そちらの団体等が対象になるというふうに考えております。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。
- そしたら、原田委員。
- 委員（原田久美子委員） 今、使用料についていいですよ。
- 委員長（陶山良尚委員） いいですよ、大丈夫です。
- 委員（原田久美子委員） 45ページ、いきいき情報センター使用料なんですけれども、令和3年度は、あそこはワクチン接種会場でございました。国のほうからの使用料として、何かそういうふうなものはなかったのでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。
- 文化学習課長（中山和彦） いきいき情報センター使用料につきましては、ここで上げております16万800円につきましては、少年の船協会と国際交流協会に貸しているその分の使用料ということになります。
- 委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。
- 総務部経営企画担当理事（村田誠英） ワクチン接種会場の使用料につきましては、指定管理している財団の収入となりますので、10分の10で国から市にまず補助が来ております。市から財

団のほうに入っておりますので、収入として、多分国庫補助で国から市に入っているのは来ておりますけれども、財団に入るものとしてここに載っているものではないというところがございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 43ページ、土木使用料の中で住宅使用料、市営住宅使用料ですね、こちらのほうも収入未済額が800万円なんですけど、調定額が1,400万円と、これを見るとかなり厳しい状況で収入が未済なのかと思われるんですけども、まだ不納欠損という形になっていません。備考のほうを見ると、過年度分を徴収していらっしゃるというところで、引き続きこれ収納手続をされると思うんですけども、こちらの見込み、状況について、分かる範囲でお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 市営住宅に関して収入未済額が約803万円となっておりますが、内訳に関しては、そのほとんどが滞納のほうになります。過年度分のほうになります。やっぱりコロナ禍ということで、もともと市営住宅自体が生活に困窮してある方が入られる施設になっていきますので、特にコロナ禍という状況で収入未済額が800万円となっております。

ただし、収納率に関しては、夜間徴収等に取り組んでいまして、現年度分に関しては令和2年度が74.2%だったものが、令和3年度は84.9%、過年度分に関しては、令和2年度が5.7%だったものが8.7%と向上はしておりますけれども、やっぱり苦しい生活の中で支払いをされていますので、滞納額が多くなっている状況になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 不納欠損のほうに過年度のやつが上がってきてないんで、何かしらの減免措置とか救済措置があるのかなってちょっと思ったところなんですけど、そこら辺は。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 不納欠損で落とすことも考えてはいるんですけど、この市営住宅はずっと入られている方がほとんどなので、過去の分をどんどん不納欠損で落としていくと、時間がたてば払わなくていいという認識をされるおそれがありますので、今のところは不納欠損で落とすことはしておりません。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、46ページ、15款国庫支出金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、56ページ、16款県支出金について質疑はありませんか。  
68ページまでですね。

よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、17款財産収入について質疑はありませんか。  
木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 71ページ、市有地売払代金約400万円の件なんですけれども、これ、普通財産を売り払われたと思うんですが、大変これいいことだと思うんですけれども、この売払いに至った経緯をちょっとお伺いしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） このうちの2件に関しましては、ちょっと建設課に関するものです。

まず、1か所目は、場所はJAのゆめ畑近くになるんですけれども、そこに里道がありました。その里道につきましては幅が約1m程度ということで、もう利用されないというような状況ですので、近隣の所有者から払下げを求められて売却をしております。

もう一点につきましては、これは場所的には三条公民館の近くになります。道路用地の一部でしたけれども、その道路につきましては、空き地でも長年使用されていないような状況で、ここの状況を見て、払下げをしても他の近隣の道路には全く影響をしないという状況と判断しましたので、売却をしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 土地売却代金のうち252万9,900円については、管財課のほうの普通財産を売却しております。土地に関しては、向佐野四丁目の土地になりまして、佐野区画整理事業の残地になって、細長い土地になっております。隣接地の土地の所有者から払下げの申出がありましたので、売却しております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、18款寄附金について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 水城小学校のエレベーター設置のときに、個人の方が寄附をされたと思うんですけれども、それについてはどこに振り分けられているのかを教えてください。金額とお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（轟 貴之） そちらの個人様からのご寄附いただいた内容につきましても、こち

ら2節のふるさと太宰府応援寄附のほうに含まれておる状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、19款繰入金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 72ページ、20款繰越金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、21款諸収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 74ページ、22款市債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入全般についての質疑を行いまして、歳入の審査を終わりたいと思います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入歳出全般についての質疑を終わりにして、258ページ、実質収支に関する調書に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、363ページ、財産に関する調書に入ります。

364ページから387ページまで、質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） まず、財産に関する調書の作り方を教えていただきたいんですけども、これは全部、何らかの台帳に基づいて管理されているというふうに考えておいてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部長。

○総務部長（山浦剛志） こちらにつきましては、管財課で所管しております財産台帳、それがベースになっております。そちらをベースに、当該年度の財産の取得あるいは売払い等で増減をいたしまして、年度末で締めた分の数字とさせていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 先ほど公園の倉庫のことを聞いたんですけども、令和2年度にあの倉庫は寄附を受けたと、6件丸々寄附を受けたと先ほど答弁がありましたけれども、令和元年度のこの調書に出てくる歴史スポーツ公園における建物の面積と今回とが、全然変わっていない

んです。昨年の分についてはあえて見なかったんですけども、寄附を受けたら、あれは建物として寄附を受けたというふうに答弁があったかと思うので、当然変わっているかと思うんですけども、公園台帳には記載をしたというふうに当時高原部長が答弁されていますが、財産台帳のほうには登録がなされなかったということになるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 今ご指摘のこの財産に関する調書と寄附いただいた建物の件につきましては、すみません、ちょっと私も詳細を把握しておりませんので、確認の上、改めて回答をさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 併せてなんですけれども、寄附を受けて市の財産が増えたということなんですけれども、先ほどちょっと言及しましたけれども、地方自治法で義務を負うような寄附を受ける際には、議決が必要だし、公有財産規則でしたっけね、寄附を受けるに当たっては申込書というものが必要で、受けるに当たっても、所有権であるとか抵当権とかそういったことを調べるというようなことがたしか書いてあったと思うんですけども、先ほど届出書はあるということでしたけれども、その申込書等の手続も踏まえて、きちんと手続上の瑕疵がなかったのかどうか、併せてご報告いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 手続につきましては、まず所有権の確認ということでございますが、こちらにつきましては、登記等は実際のその建物、プレハブのこの小屋ということでございますので、登記等はございません。したがって、第三者に対する所有権の登記というのはございませんので、長年使われていたという事実をもってこちらのほうは判断はさせていただいております。

あと、その他手続関係については、市の規則、規定等に基づきまして実施をしておりますので、漏れがないというふうに思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 364ページの財産に関する調書の公有財産、この普通財産のほうなんですけれども、56.22㎡が減っているというところですね。これ先ほどちょっと質問しましたが、市有地の売却で400万円というふうな形で収入に上がってきていますが、その分の面積が減じたという形になるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） これは、先ほど木村副委員長のほうから質問がありました市有地の売却代金の中の管財課分の面積になります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 財産のほうを見ていくと、普通財産のところでは宅地が4万2,201㎡という形で、地目として宅地なんですけど、内容は分かりませんが、こういう形で市有財産、これ慎重に処分すべきというところなんだろうけれども、まだまだ未利用で必要じゃないところがありそうなんですけれども、ここら辺の4万2,000㎡の内訳の見直しとかはなさっているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この普通財産の宅地の分に関しては、定期的な見直しはしております。売却できるところは積極的に売却という形を取っておりまして、令和2年度であれば朱雀三丁目の客館跡付近の競争入札による売却を行ったところであります。今後も積極的に販売については検討してまいります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、389ページ、基金の運用状況調書に入ります。

390ページから391ページまで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、これで質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 一般会計の決算については、反対の立場で討論いたします。

令和3年度の一般会計予算に対して反対の立場でありました。同和対策費の計上、それから中学校給食につきましては、令和3年度には動きがなかったというところでの決算になっておりますので、そのことを理由といたしまして反対とさせていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに討論はありませんか。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） ちょっと質疑のほうは控えておりましたが、本会議ではできないから、

ここで賛成の立場で討論させていただきます。

笠利委員が何回か歴史スポーツ公園の件で質問されましたが、何ら解決に至っていないと私も感じております。これはもう基本的には運用の問題で、何度も一般質問等で申しましたけれども、きちんとした運動公園があると、それらの回転率というのは十分な余裕があると。十分というのはそれぞれの考えがあるかもしれないけれども、そちらを積極的に使っていただいて、市街地の都市公園は本来の目的に沿った使い方をさせていただくということが基本だと。

そこにもってきて、この倉庫の問題ですけれども、違法な状態を長年黙認しておりながら、それを寄附として受け入れて、そして若干の使用料を取ってそのまま使わせるというのは、行政としてどうなのかと、非常に何か私は違和感を感じます。

まずは、とにかくにもまずあそこは全部原状、元に戻して、全て移動するか撤去するか廃棄するか。だって、市の施設でしょう。それはそれでできるはず。それをまず行う。そして、本当に必要ならば、現在月にたった2回、いわゆる市民開放、今利用ができない日というのを設けておりますけれども、それをそんなものでいいのかどうかの基本をもう一度議論して、そして必要ならば、各小学校なんかの運動場に社会体育倉庫というのを置いているけれども、それと同じようなものを必要ならば設けるのはやぶさかじゃないと思います。

しかし、それよりもまずは今の運動公園を、もっと利用者のニーズに即したものにすることも考えながら、運用を考えてとにかくいただきたい。とにかくにもあの倉庫の問題は何ら解決していない。あれは本市にとってちょっと恥ずかしい状況だと思う。

そのことだけ懸念だということを申しまして、賛成ではあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第1号「令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（多数挙手）

○委員長（陶山良尚委員） 多数挙手であります。

よって、認定第1号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対1名 午後2時46分〉

○委員長（陶山良尚委員） 以上、本会議において報告します。

お諮りします。

本日はここまでとしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認め、本日の審査を終了します。

次の委員会は、9月15日午前10時から再開いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれにて散会いたします。

散会 午後2時47分

~~~~~ ○ ~~~~~